

# Cisco Virtual Network Management Center 2.1 CLI コンフィギュレーション ガイド



2013 年 6 月 3 日

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

第 1 章 概要 .....	5
VNMC について .....	5
VNMC .....	5
システム要件 .....	6
VNMC で使用するための Chrome の設定 .....	7
VNMC CLI に関する情報 .....	7
VNMC CLI へのアクセス .....	7
VNMC CLI の概要 .....	8
VNMC CLI の基本的なコマンド .....	11
第 2 章 VNMC の管理 .....	12
VNMC のリブート .....	12
システムの更新 .....	13
ホスト名の設定 .....	14
VNMC の復元 .....	15
サービスの使用 .....	16
データベースの再初期化 .....	17

サービスの再起動	18
サービスの起動	19
サービスのステータスの表示	20
サービスの停止	21
ファイルおよびアプリケーションの管理	22
ファイルのコピー	22
ファイルの削除	23
ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリの管理	24
セキュリティの管理	25
ネットワーク インターフェイスの管理	26
IP アドレスの設定	26
ゲートウェイ アドレスの設定	27
ネットマスクの設定	27
ping コマンドの使用	28
ターミナル セッション パラメータの設定	30
ターミナルの長さの設定	30
セッション タイムアウトの設定	31
ターミナルの幅の設定	31
システム情報の表示	32
プロバイダーの表示	32
CLI 情報の表示	33
クロックの表示	33
設定情報の表示	34
ネットワーク インターフェイスの表示	35
システム情報の表示	36
バージョン番号の表示	36
テクニカルサポート情報の表示	37
更新履歴の表示	38
FSM の表示	42
第 3 章 ファイル バックアップと管理データのエクスポートおよびインポートの管理	43
Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元	43
ファイルのバックアップの操作	45
ファイルのバックアップの作成	45
ファイル バックアップの削除	46
ファイル バックアップの表示	46
ファイル バックアップのイネーブル化	47
ファイル バックアップのディセーブル化	48
ファイル バックアップの属性の使用	49
管理データのエクスポートおよびインポートの使用	55
管理データのエクスポート サービスの作成	55
管理データのエクスポート サービスの削除	56
管理データのエクスポート サービスの表示	56
管理データのエクスポート サービスのイネーブル化	57
管理データのエクスポート サービスのディセーブル化	58
管理データのインポート サービスの作成	59
管理データのインポート サービスの削除	60
管理データのインポート サービスの表示	60
管理データのインポート サービスのイネーブル化	61
管理データのインポート サービスのディセーブル化	62
管理データの属性の使用	63
第 4 章 ログ、イベント、および障害の管理	70
管理ログの使用	70
ログの重大度レベルとログ サイズの設定	70
管理ログ レベルのリセット	71
管理ログ パラメータの保存	72
管理ログの表示	73
障害の確認	75

監査ログの表示.....	75
イベントの表示.....	76
障害の表示.....	78
第 5 章 デバイス プロファイルの管理.....	79
DNS サーバのホスト名の作成.....	79
NTP サーバのホスト名の作成.....	80
DNS サーバのホスト名の削除.....	82
NTP サーバのホスト名の削除.....	83
ドメイン名の変更.....	84
デバイス プロファイルの表示.....	85
コア ファイル ポリシーの設定.....	86
障害ポリシーの設定.....	88
ログ ポリシーの設定.....	89
syslog ポリシーの設定.....	90
時間帯の設定.....	91
DNS サーバの表示.....	92
ドメイン名の表示.....	93
NTP サーバの表示.....	95
第 6 章 ポリシーの管理.....	97
コア ファイル ポリシーの使用.....	97
コア ファイル ポリシーの作成.....	97
コア ファイル ポリシーの表示.....	98
コア ファイル ポリシーの削除.....	99
障害ポリシーの操作.....	101
障害ポリシーの作成.....	101
障害ポリシーの表示.....	102
障害ポリシーの削除.....	103
ログ ポリシーの使用.....	105
ログ ポリシーの作成.....	105
ログ ポリシーの表示.....	106
ログ ポリシーの削除.....	107
syslog ポリシーの使用.....	108
syslog ポリシーの作成.....	108
syslog ポリシーの表示.....	110
Syslog ポリシーの削除.....	111
第 7 章 コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、およびログ ポリシーの属性の設定.....	113
コア ファイル ポリシーの属性の設定.....	113
管理状態の設定.....	113
説明の設定.....	114
ホスト名の設定.....	116
パスの設定.....	117
ポートの設定.....	118
障害ポリシーの属性の設定.....	120
管理状態の設定.....	120
クリア処理の設定.....	121
説明の設定.....	122
フラッピング間隔の設定.....	124
保持間隔の設定.....	125
ログ ポリシーの属性の設定.....	127
バックアップ カウントの設定.....	127
説明の設定.....	128
レベルの設定.....	130
サイズの設定.....	131
第 8 章 syslog ポリシーの属性の設定.....	133
syslog ポリシーへの説明の割り当て.....	133

---

syslog アラートの送信 .....	134
コンソール属性の使用 .....	136
コンソール属性の作成 .....	136
コンソール属性のイネーブル化 .....	137
コンソール属性のディセーブル化 .....	139
コンソール属性の設定 .....	140
ファイル属性の使用 .....	142
ファイルの作成 .....	142
ファイルのイネーブル化 .....	143
ファイルのディセーブル化 .....	145
ファイルの設定 .....	146
モニタ属性の使用 .....	147
モニタの作成 .....	147
モニタのイネーブル化 .....	149
モニタのディセーブル化 .....	150
モニタの設定 .....	151
リモート宛先属性の使用 .....	153
リモート宛先の作成 .....	153
リモート宛先のイネーブル化 .....	154
リモート宛先のディセーブル化 .....	155
リモート宛先の設定 .....	157
索引 .....	159
第 9 章 マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート .....	161

## 第 1 章 概要

ここでは、Virtual Network Management Center (VNMC) と VNMC CLI の基本情報の説明をします。

- [VNMC について](#)
- [VNMC CLI に関する情報](#)

## VNMC について

ここでは、VNMC の概要について説明します。

- [VNMC](#)
- [システム要件](#)

### VNMC

VNMC は Red Hat Enterprise Linux (RHEL) に基づく仮想アプライアンスであり、Cisco Virtual Security Gateway (VSG) および Cisco Adaptive Security Appliance 1000V (ASA 1000V) Cloud Firewall のデバイスおよびセキュリティ ポリシーの中央管理を提供します。

VSG は Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチ向けの仮想ファイアウォール アプライアンスです。VSG は、仮想データセンターとクラウド環境への信頼されたアクセスを提供します。VSG では、さまざまなセキュリティ プロファイルを持つ複数のテナント ワークロードの広範な組み合わせによって、仮想データセンターのプライベート クラウドまたはパブリック クラウドにおける共通のコンピューティング インフラストラクチャの共有を可能にします。VSG は、独立した信頼ゾーンに 1 つ以上の仮想コンピュータ (VM) を関連付けることにより、確立済みのセキュリティ ポリシーを通じて信頼済みゾーンに対するアクセスの制御と監視を実現します。

ASA 1000V は、Nexus 1000V を配置した複数テナント環境のテナント エッジをセキュリティで保護するために、ASA のインフラストラクチャを使用して開発された仮想アプライアンスです。エッジ機能 (サイト間 VPN、NAT、DHCP など) を提供して、デフォルト ゲートウェイとして機能し、ネットワーク ベースのあらゆる攻撃からテナントの VM を保護します。

複数のテナントの操作を目的に設計された VNMC は、仮想化されたデータセンターとクラウド環境に、シームレスで、スケーラブルな自動化中心の管理を提供します。VNMC で Web ベースの GUI、CLI および XML API を使用すると、データセンター全体に展開されている VSG および ASA 1000V を中央から管理することができます。

マルチテナンシーとは、ソフトウェアの単一のインスタンスが Software-as-a-Service (SaaS) サーバで動作し、複数のクライアント組織またはテナントを処理するアーキテクチャの原理を指します。マルチテナンシーは、クライアント組織ごとに異なるソフトウェア インスタンスを設定する複数インスタンスのアーキテクチャとは対照的です。マルチテナント アーキテクチャでは、データや設定を仮想的にパーティショニングするようにソフトウェア アプリケーションが設計されています。これにより、各テナントはカスタマイズされた仮想アプリケーション インスタンスで作業できます。

VNMC は、各管理対象デバイスがサブコンポーネント別に表示される情報モデル主導のアーキテクチャに基づいて構築されています。このアーキテクチャにより、VNMC はマルチテナント インフラストラクチャの保護の俊敏性を高め、簡略化します。

VNMC は、管理 VLAN を使用して vCenter、VSM、ASA 1000V、および VSG と通信します。

表 1 で Cisco VNMC の要件を特定します。

## システム要件

表 1. Cisco VNMC の要件

要件	説明
<b>仮想アプライアンス</b>	
2 個の仮想 CPU	1.5 GHz
メモリ	3 GB メモリ
ディスク容量	VNMC がハイ アベイラビリティ (HA) クラスタに導入される場合は、共有ネットワークファイルストレージ (NFS) またはストレージエリア ネットワーク (SAN) に 25 GB
管理インターフェイス	管理ネットワーク インターフェイス x 1
プロセッサ	VMware 互換表に記載された 64 ビット プロセッサを搭載した x86 Intel または AMD サーバ
<b>VMware</b>	
VMware vSphere	バージョン 4.1、5.0、5.1 と VMware ESXi (英語のみ)
VMware vCenter	リリース 4.1 または 5.0 (英語のみ)
<b>インターフェイスとプロトコル</b>	
HTTP/HTTPS	—
Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)	—
<b>Intel VT</b>	
Intel 仮想化技術 (VT)	BIOS でイネーブル化
<b>Web ベース GUI クライアント要件</b>	
ブラウザ	次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Internet Explorer 9.0</li> <li>Mozilla Firefox 20.0</li> <li>Chrome 26.0</li> </ul>
Flash Player	Internet Explorer と Mozilla Firefox に対してサポートされている Adobe Flash Player プラグインバージョンは、11.2 です。 Chrome に対してサポートされている Adobe Flash Player プラグインバージョンは、11.3.300.265 です。
<b>アクセスを必要とするファイアウォール ポート</b>	
80	HTTP
443	HTTPS
843	Adobe Flash

## VNMC で使用するための Chrome の設定

Chrome 18.0 以前と VNMC 2.x を使用している場合は、Chrome にデフォルトでインストールされている Adobe Flash Player をディセーブルにします。

**注：** クライアント マシンをリブートするたびにこの手順を実行する必要があります。Chrome 18.0 以前の場合、実行しているシステムをリブートすると、Adobe Flash Player が自動的にイネーブルになります。

Chrome でデフォルトの Adobe Flash Player をディセーブルにするには、次の手順に従います。

- ステップ 1. Chrome の [URL] フィールドに **chrome://plugins** と入力します。
- ステップ 2. [Details] をクリックします。
- ステップ 3. Flash Player のプラグインを検索し、各プラグインをディセーブルにします。
- ステップ 4. Adobe Flash Player バージョン 11.0 をダウンロードしてインストールします。
- ステップ 5. Chrome をいったん閉じてから再度開き、VNMC 2.1 にログインします。

## VNMC CLI に関する情報

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [VNMC CLI へのアクセス](#)
- [VNMC CLI の概要](#)
- [VNMC CLI の基本的なコマンド](#)

### VNMC CLI へのアクセス

次のいずれかの方法で CLI にアクセスできます。

- vSphere Client を使用した VNMC CLI へのアクセス
- SSH を使用した VNMC CLI へのアクセス

#### vSphere Client を使用した VNMC CLI へのアクセス

vSphere Client で VNMC CLI にアクセスするには、次の手順に従います。

- ステップ 1. [Home] > [Inventory] > [Hosts and Clusters] を選択します。
- ステップ 2. 左側のペインで、[VNMC VM] を選択します。
- ステップ 3. [Console] タブをクリックして、VNMC CLI にアクセスします。
- ステップ 4. VNMC のインストール時に指定した VNMC パスワードを使用して、管理者としてログインします。

#### 例

```
hostname login: admin
Password: MyPassword
```

#### SSH を使用した VNMC CLI へのアクセス

SSH から VNMC CLI にアクセスするには、次の手順に従います。

- ステップ 1. コマンドを入力します。  

```
ssh admin@VNMC-IP
```

VNMC-IP は、使用している VNMC の IP アドレスです。
- ステップ 2. 次のプロンプトが表示されたら、VNMC 管理者のパスワードを入力します。  

```
admin@VNMC-IP's password:
```

ステップ 3. (任意) ssh known\_hosts に VNMC IP を保存するかどうかを尋ねられた場合は yes を入力します。

## 例

次に、SSH を使用して VNMC CLI にアクセスする例を示します。

```
$ ssh admin@172.25.97.246
admin@172.25.97.246's password:
Last login: Fri Aug 10 20:49:15 2012 from 171.69.222.221
Logged in from 171.69.154.246
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
host-name#
```

## VNMC CLI の概要

CLI は、VNMC の重要なコンポーネントです。これを使用すると、次のタスクを実行できます。

- VNMC を再インストールせずに、VNMC を完全な状態にリストアする。
- テクニカル サポート データを収集し、ファイルにコピーする。
- ホスト名を変更する。
- 管理インターフェイス IP 設定を変更する。
- VNMC のデバイス プロファイルを設定する。
- VNMC のシステム ポリシーを作成する。
- バックアップを作成し、サービスをエクスポート/インポートする。

VNMC は、6 個のサブ CLI を含みます。VNMC を管理するには、6 個のサブ CLI をすべて使用します。CLI は次のとおりです。

- 管理コントローラ：これは、デフォルトの CLI です。コマンド プロンプトは host-name# です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```
host-name#
commit-buffer Commit transaction buffer
connect Connect to another CLI
discard-buffer Discard transaction buffer
exit Exit from command interpreter
scope Changes the current mode
show Show system information
terminal Terminal
top Go to the top mode
where Show information about the current mode
```

```
host-name# show
cli CLI Information
clock Clock
configuration Configuration
network-interface VM IP interface
system Systems
version Version of installed applications
```

- ローカル管理：これは、ローカル管理の CLI です。コマンド プロンプトは ishost-name(local-mgmt)# です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```
host-name(local-mgmt)#
```



```

connect      Connect to another CLI
copy        Copy a file
delete      Delete a file
dir         Show content of dir
exit        Exit from command interpreter
modify      Modify the shared secret on service registry
ping        Ping
reboot      Perform system reboot
restore     Restore the VM
service     Control services
show        Show system information
terminal    Terminal
top         Go to the top mode
update      Update the system using the specified image

```

```

host-name(local-mgmt)# connect
local-mgmt   Local-mgmt
policy-mgr   Policy-mgr
resource-mgr Resource-mgr
service-reg  Service-reg
vm-mgr       Vm-mgr
host-name(local-mgmt)# show
cli          CLI Information
clock        Clock
tech-support Show tech support
update-history show update system image history
version      Version of installed applications

```

- **ポリシー マネージャ** : これは、ポリシー マネージャの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(policy-mgr)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

host-name(policy-mgr)#
commit-buffer Commit transaction buffer
connect       Connect to Another CLI
discard-buffer Discard transaction buffer
exit          Exit from command interpreter
scope        Changes the current mode
show          Show system information
terminal     Terminal
top           Go to the top mode
where        Show information about the current mode

```

```

host-name(policy-mgr)# connect
policy-mgr     Policy-mgr
resource-mgr   Resource-mgr
service-reg    Service-reg
vm-mgr         Vm-mgr

```

```

host-name(policy-mgr)# scope
monitoring     Monitor the system
org            Organizations

```

```

host-name(policy-mgr)# show
cli            CLI Information
configuration Configuration
org           Organizations
timezone      Set timezone
version       Version of installed applications

```

- **リソース マネージャ** : これは、リソース マネージャの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(resource-mgr)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

host-name(resource-mgr)#
commit-buffer Commit transaction buffer
connect       Connect to Another CLI
discard-buffer Discard transaction buffer

```

```
exit          Exit from command interpreter
scope        Changes the current mode
show         Show system information
terminal     Terminal
top          Go to the top mode
where Show information about the current mode
```

```
host-name(resource-mgr)# connect
policy-mgr   Policy-mgr
resource-mgr Resource-mgr
service-reg  Service-reg
vm-mgr       Vm-mgr
```

```
host-name(resource-mgr)# scope
monitoring Monitor the system
```

```
host-name(resource-mgr)# show
cli          CLI Information
configuration Configuration
version      Version of installed applications
```

- サービス レジストリ : これは、サービス レジストリの CLI です。コマンド プロンプトは `host-name(service-reg)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```
host-name(service-reg)#
acknowledge Acknowledge
commit-buffer Commit transaction buffer
connect     Connect to Another CLI
discard-buffer Discard transaction buffer
exit       Exit from command interpreter
scope     Changes the current mode
show      Show system information
terminal  Terminal
top       Go to the top mode
where     Show information about the current mode
```

```
host-name(service-reg)# connect
policy-mgr   Policy-mgr
resource-mgr Resource-mgr
service-reg  Service-reg
vm-mgr       Vm-mgr
```

```
host-name(service-reg)# scope
monitoring Monitor the system
```

```
host-name(service-reg)# show
cli          CLI Information
clients     Show registered clients
configuration Configuration
controllers Show registered controllers
fault       Fault
providers   Show registered providers
version     Version of installed applications
```

- 仮想マシン マネージャ : これは、仮想マシン マネージャの CLI です。コマンド プロンプトは `host-name(vm-mgr)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```
host-name(vm-mgr)#
commit-buffer Commit transaction buffer
connect     Connect to Another CLI
discard-buffer Discard transaction buffer
exit       Exit from command interpreter
scope     Changes the current mode
show      Show system information
terminal  Terminal
```

```
top          Go to the top mode
where       Show information about the current mode

host-name (vm-mgr) # connect
policy-mgr  Policy-mgr
resource-mgr Resource-mgr
service-reg Service-reg
vm-mgr      Vm-mgr

host-name (vm-mgr) # scope
monitoring  Monitor the system

host-name (vm-mgr) # show
cli         CLI Information
configuration Configuration
version     Version of installed applications
```

## VNMC CLI の基本的なコマンド

VNMC CLI の基本的なコマンドは次のとおりです。

- `commit-buffer` : 設定を保存します。  
`commit-buffer` は、オプションキーワードの `verify-only` と一緒に使用できます。`commit-buffer verify-only` を実行すると、設定は確認のみされて保存はされません。
- `connect` : 他の CLI に接続します。
- `discard-buffer` : 設定を削除します。
- `enter` : オブジェクトを作成し、モードを開始します。
- `exit` : モード、CLI、およびデフォルト CLI を終了します。
- `scope` : モードを開始します。
- `show` : 情報を表示します。
- `top` : ロケーション管理コントローラ モードを開始します。
- `where` : VNMC CLI 内の現在の位置を示します。
- `?` : モードで使用できるコマンドを表示します。
- `>` : `show` コマンドをファイルヘリダイレクトします。
- `>>` : `show` コマンドをアペンド モードでファイルにリダイレクトします。
- `|` : `show` コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 第 2 章 VNMC の管理

ここでは、VNMC を管理するための手順について説明します。

- VNMC のリブート
- システムの更新
- ホスト名の設定
- VNMC の復元
- サービスの使用
- データベースの再初期化
- サービスの再起動
- ファイルおよびアプリケーションの管理
- セキュリティの管理
- ネットワーク インターフェ이스の管理
- ターミナル セッション パラメータの設定
- システム情報の表示

### VNMC のリブート

VNMC をリブートできます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ローカル管理

#### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **reboot**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>reboot</b>  例： vnmc(local-mgmt)# reboot	VNMC をリブートします。

## 例

次に、VNMC をリブートする例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt) # reboot
The VM will be rebooted. Are you sure?(yes/no): yes
Rebooting...
Broadcast message from root (pts/0) (Thu Sep 30 01:52:25 2010):
The system is going down for reboot NOW!
vnmc(local-mgmt) #
```

## システムの更新

システムを更新できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ローカル管理

### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **update {bootflash: | ftp: | scp: | sftp: | volatile:} <uri>**

**注:** TFTP を使用してシステムを更新しないでください。

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>update</b>  例: vnmc(local-mgmt) # update bootflash:/VNMC.2.0.bin	システムを更新します。

## 例

次の例は、システムを更新する方法を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# update bootflash:/VNMC.2.0.bin
```

## ホスト名の設定

ホスト名を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

**注意：**ホスト名を変更すると、変更の影響をユーザに警告することを目的に、新しい証明書が生成されます。VM Manager 拡張ファイルを再びエクスポートし、vCenter にインストールする必要があります。証明書がインストールされているすべての Web ブラウザ クライアントに、新しい証明書のプロンプトが表示されます。

### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **scope system**
2. **set hostname**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>set hostname</b>  例： vnmcli /system # set hostname testHost	ホスト名を設定します。
ステップ 3	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、ホスト名を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # set hostname testHost
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #
```

## VNMC の復元

VNMC を復元できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **restore {ftp: | scp: | sftp:} <uri-remote-file>**

注：VNMC の復元に TFTP を使用しないでください。

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmcli# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>restore</b>  例： vnmcli(local-mgmt)# restore scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith-sjc	

## 例

次に、VNMC を復元する例を示します。

```
vnmcli# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(local-mgmt)# restore scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith-
sjc/483fullstatesftp
Enter password:
Stopping services
Extracting files
Configuring network
NOTE - the IP address you're restoring from differs from your current IP,
you might lose network connectivity
vnmcli(local-mgmt)#
```

## サービスの使用

次のトピックでは、データベースを再初期化する方法、サービスの開始および停止方法を説明します。

- データベースの再初期化
- サービスの再起動
- サービスの起動
- サービスのステータスの表示
- サービスの停止



## データベースの再初期化

データベースを再初期化できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ローカル管理

### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service reinit**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>service reinit</b>  例： vnmc(local-mgmt)# service reinit	データベースを再初期化します。

### 例

次に、データベースを再初期化する例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# service reinit
The VNMC databases will be reinitialized. Are you sure?(yes/no): yes
Shutting down pmon: [ OK ]
Starting pmon: [ OK ]
vnmc(local-mgmt)#
```

## サービスの再起動

サービスを再起動できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ローカル管理

### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service restart**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>service restart</b>  例： vnmc(local-mgmt)# service restart	サービスを再起動します。

### 例

次に、サービスを再起動する例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# service restart
Shutting down pmon: [ OK ]
Starting pmon:
vnmc(local-mgmt)#
```

## サービスの起動

サービスを起動できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ローカル管理

### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service start**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>service start</b>  例： vnmc(local-mgmt)# service start	サービスを再起動します。

### 例

次に、サービスを起動する例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# service start
Starting pmon: [ OK ]
vnmc(local-mgmt)#
```

## サービスのステータスの表示

サービスのステータスを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ローカル管理

### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service status**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>service status</b>  例： vnmc(local-mgmt)# service status	すべてのサービスのステータスを表示します。

### 例

次に、サービスを起動する例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# service status
SERVICE NAME          STATE      RETRY (MAX)  CORE
-----
pmon                   running   N/A          N/A
core-svc_cor_dme       running   0 (4)        no
service-reg-svc_reg_dme running   0 (4)        no
core-svc_cor_secAG     running   0 (4)        no
resource-mgr-svc_res_dme running   0 (4)        no
policy-mgr-svc_pol_dme running   0 (4)        no
```

```

sam_cores_mon.sh          running  0(4)   no
vm-mgr-svc_vmm_dme       running  0(4)   no
core-svc_cor_controllerAG running  0(4)   no
vm-mgr-svc_vmm_vmAG      running  0(4)   no
core-httpd.sh            running  0(4)   no
core-svc_cor_sessionmgrAG running  0(4)   no
vnmcli(local-mgmt) #

```

## サービスの停止

サービスを停止できます。

### 始める前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ローカル管理

#### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service stop**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmcli# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>service stop</b>  例： vnmcli(local-mgmt)# service stop	サービスを停止します。

### 例

次に、サービスを停止する例を示します。

```

vnmcli# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(local-mgmt) # service stop
Shutting down pmon: [ OK ]

```

```
vnmc(local-mgmt) #
```

## ファイルおよびアプリケーションの管理

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [ファイルのコピー](#)
- [ファイルの削除](#)
- [ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリの管理](#)

### ファイルのコピー

ファイルをコピーできます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ローカル管理

#### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **copy {bootflash: | ftp: | scp: | stftp: | tftp: | volatile:} <uri-source-file> {bootflash: | ftp: | scp: | stftp: | tftp: | volatile:} <uri-destination-file>**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>copy</b>  例： vnmc(local-mgmt)# copy scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith- sjc/vnmc.2.0.bin bootflash:/	ファイルをコピーします。

#### 例

次に、ファイルをコピーする例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
```

```

http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt) # copy scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith-sjc/vnmc.2.0.bin
bootflash:/
Password:
vnmc(local-mgmt) #

```

## ファイルの削除

ファイルを削除できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ローカル管理

### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **delete {bootflash: | volatile:} <uri-file>**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>delete</b>  例： vnmc(local-mgmt)# delete bootflash:/vnmc.2.0.bin	ファイルを削除します。

### 例

次に、ファイルを削除する例を示します。

```

vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt) # delete bootflash:/vnmc.2.0.bin
Delete bootflash:///vnmc.2.0.bin?(yes/no): yes
Deleted

```

```
vnmc(local-mgmt) #
```

## ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリの管理

ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリを管理できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ローカル管理

### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **dir {bootflash: | volatile:}**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>dir</b>  例： vnmc(local-mgmt)# dir bootflash:	

### 例

次に、ブートフラッシュ ディレクトリをモニタする例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt) # dir bootflash:
19M Jul 28 2011 vnmc-vsgpa.1.2.1b.bin
19M Jul 28 2011 vnmc-vsmpa.1.2.1b.bin
431M Aug 8 23:36 vnmc.2.0.3f.bin
Usage for bootflash://
2694216 KB used
14554820 KB free
18187836 KB total
```



```
vnmc(local-mgmt) #
```

## セキュリティの管理

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

#### ローカル管理

#### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **modify shared-secret**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>modify shared-secret</b>  例： vnmc(local-mgmt) # modify shared-secret	共有シークレット パスワードを変更します。  パスワードには少なくとも 8 文字 が必要です。

### 例

次に、共有シークレット パスワードを変更する例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt) # modify shared-secret
Enter the Shared Secret :
Confirm Shared Secret :
vnmc(local-mgmt) #
```

## ネットワーク インターフェイスの管理

ここでは、仮想マシンのネットワーク インターフェイスを管理するための手順を説明します。

- [IP アドレスの設定](#)
- [ゲートウェイ アドレスの設定](#)
- [ネットマスクの設定](#)
- [ping コマンドの使用](#)

### IP アドレスの設定

#### はじめる前に

**注意：** この変更は、いったんコミットすると、現在の CLI セッションから切断される場合があります。

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ローカル管理

#### 手順の概要

1. **scope network-interface mgmt**
2. **set net ip <ip-address>**
3. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope network-interface mgmt</b>  例： vnmc# scope network-interface mgmt	ネットワークインターフェイスモードを開始します。
ステップ 2	<b>set net ip</b>  例： vnmc /network-interface # set net ip 209.165.200.230	IP アドレスを設定します。引数の形式は A.B.C.D です。
ステップ 3	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /network-interface* #	設定をコミット（保存）します。

#### 例

次に、IP アドレスを 209.165.200.230 に設定する例を示します。

```
vnmc# scope network-interface mgmt
vnmc /network-interface # set net ip 209.165.200.230
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session.
vnmc /network-interface* # commit-buffer
vnmc /network-interface#
```

## ゲートウェイ アドレスの設定

### はじめる前に

**注意：** このプロパティをリセットするときに、何を実行していたかを明らかにしておく必要があります。いったんリセットすると、ネットワーク内のトラフィックがリセットされます。

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

#### 管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **scope network-interface mgmt**
2. **set net gw <gateway-address> commit-buffer**
3. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope network-interface mgmt</b>  例： vnmc# scope network-interface mgmt	ネットワークインターフェイスモードを開始します。
ステップ 2	<b>set net gw</b>  例： vnmc /network-interface # set net gw 209.165.200.225	ゲートウェイ アドレスを設定します。  引数の形式は A.B.C.D です。
ステップ 3	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /network-interface* #	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、ゲートウェイ アドレスを 209.165.200.225 に設定する例を示します。

```
vnmc# scope network-interface mgmt
vnmc /network-interface # set net gw 209.165.200.225
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session.
vnmc /network-interface* # commit-buffer
vnmc /network-interface #
```

## ネットマスクの設定

### はじめる前に

**注意：** この変更は、いったんコミットすると、現在の CLI セッションから切断される場合があります。

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

#### 管理コントローラ

## 手順の概要

1. **scope network-interface mgmt**
2. **set net netmask <netmask>**
3. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope network-interface mgmt</b>  例： vnm# scope network-interface mgmt	ネットワークインターフェイス モードを開始します。
ステップ 2	<b>set net netmask</b>  例： vnm /network-interface # set net netmask 255.255.255.0	ゲートウェイ アドレスを設定します。  引数の形式は A.B.C.D です。
ステップ 3	<b>commit-buffer</b>  例： vnm /network-interface* #	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、ネットマスクを 255.255.255.0 に設定する例を示します。

```
vnm# scope network-interface mgmt
vnm /network-interface # set net netmask 255.255.255.0
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session.
vnm /network-interface* # commit-buffer
vnm /network-interface#
```

## ping コマンドの使用

デバイスのホスト名または IP アドレスに ping を送信して、そのデバイスに接続できるかどうかを確認できます。

## はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

## 手順の概要

1. **scope network-interface mgmt**
2. **ping <hostname or ip-address>**
3. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope network-interface mgmt</b>  例： vnmcc# scope network-interface mgmt	ネットワークインターフェイスモードを開始します。
ステップ 2	<b>ping &lt;hostname or ip-address&gt;</b>  例： vnmcc(local-mgmt)# ping 171.69.68.1	ホスト名または IP アドレスに ping を実行します。

### 例

次に、IP アドレス 171.69.68.1 に ping を実行する例を示します。

```
vnmcc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc(local-mgmt)# ping 171.69.68.1
PING 171.69.68.1 (171.69.68.1) 56(84) bytes of data.
64 bytes from 171.69.68.1: icmp_seq=1 ttl=249 time=6.06 ms
64 bytes from 171.69.68.1: icmp_seq=2 ttl=249 time=1.55 ms
64 bytes from 171.69.68.1: icmp_seq=3 ttl=249 time=1.77 ms
--- 171.69.68.1 ping statistics ---
3 packets transmitted, 3 received, 0% packet loss, time 2000ms
rtt min/avg/max/mdev = 1.559/3.131/6.060/2.072 ms
vnmcc(local-mgmt)#
```

## ターミナル セッション パラメータの設定

次の項の説明に従って、ターミナル セッション パラメータの設定を行います。

- [ターミナルの長さの設定](#)
- [セッションタイムアウトの設定](#)
- [ターミナルの幅の設定](#)

### ターミナルの長さの設定

**show** コマンドの実行中にコンピュータ画面に表示する文字の行数を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **terminal length** <terminal-length>

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>terminal length</b>  例： vnmc# terminal length 46	表示する行数を設定します。 有効な値の範囲は、0 ~ 511 です。

例

次に、表示する行数を 46 に設定する例を示します。

```
vnmc# terminal length 46
```

```
vnmc#
```

## セッションタイムアウトの設定

ターミナルセッションタイムアウトを設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. `terminal session-timeout <terminal session timeout in minutes>`

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>terminal session-timeout</code>  例： <code>vnmc# terminal session-timeout 100</code>	ターミナルセッションタイムアウトを設定します。  有効な値の範囲は 0 ~ 525600 分です。

### 例

次に、ターミナルセッションタイムアウトを 100 分に設定する例を示します。

```
vnmc# terminal session-timeout 100
vnmc#
```

## ターミナルの幅の設定

`show` コマンドの実行中にコンピュータ画面に表示する文字の列数を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. `terminal width <terminal width>`

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>terminal width</code>  例： <code>vnmc# terminal width 46</code>	表示する列数を設定します。  有効な値の範囲は、24 ~ 511 です。

### 例

次に、表示する列数を 46 に設定する例を示します。

```
vnmc# terminal width 46
vnmc#
```

## システム情報の表示

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [プロバイダーの表示](#)
- [CLI 情報の表示](#)
- [クロックの表示](#)
- [設定情報の表示](#)
- [ネットワーク インターフェイスの表示](#)
- [システム情報の表示](#)
- [バージョン番号の表示](#)
- [テクニカルサポート情報の表示](#)
- [更新履歴の表示](#)
- [FSM の表示](#)

### プロバイダーの表示

VNMC プロバイダーを表示できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

サービス レジストリ

#### 手順の概要

1. **connect service-reg**
2. **show providers**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect service-reg</b>  例： vnmc# connect service-reg	サービス レジストリ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>show providers</b>  例： vnmc(policy-mgr)# show providers	プロバイダーを表示します。

#### 例

次に、プロバイダーを表示する例を示します。

```
vnmc# connect service-reg
vnmc(service-reg) # show providers
Registered Providers:
ID: 1001
Registered Provider IP: 209.165.200.230
Registered Provider Name: vnmc
Registered Provider Type: Policy Mgr
ID: 1002
```



```
Registered Provider IP: 209.165.200.230
Registered Provider Name: vnmc
Registered Provider Type: Resource Mgr
ID: 1004
Registered Provider IP: 209.165.200.230
Registered Provider Name: vnmc
Registered Provider Type: Vm Mgr
```

## CLI 情報の表示

VNMC CLI に関する情報を表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. `show cli {command-status | history | mode-info | shell-type}`

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>show cli</code>  例：  <code>vnmc# show cli mode-info</code>	CLI 情報を表示します。

### 例

次に、CLI モードの情報を表示する例を示します。

```
vnmc# show cli mode-info
Mode: /
Mode Data:
vnmc#
```

## クロックの表示

システム クロックを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

ローカル管理

#### 手順の概要

1. `show clock`

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>show clock</b>  例：  vnmc# show clock	クロックを表示します。

## 例

次に、クロックを表示する例を示します。

```
vnmc# show clock
Thu Nov
```

## 設定情報の表示

設定情報を表示できます。

## はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

- 管理コントローラ
- ポリシー マネージャ
- リソース マネージャ
- サービス レジストリ
- 仮想マシン マネージャ

## 手順の概要

1. (Optional) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**

注：ステップ 1 はオプションです。管理コントローラ CLI で **show configuration** コマンドを実行することもできます。ログインした CLI に応じて、CLI ごとに異なる設定情報が返されます。

2. **show configuration**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>show configuration</b>  例：  vnmc# show configuration	構成情報を表示します。

## 例

次に、管理コントローラの設定情報を表示する例を示します。

```
vnmc# show configuration
scope system
set hostname vnmc
exit
scope network-interface mgmt
set net ip 172.20.28.151 netmask 255.255.255.224 gw 172.20.28.129
exit
```

vnmc#

## ネットワーク インターフェイスの表示

ネットワーク インターフェイスを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **show network-interface [detail | fsm status | mgmt]**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>show network-interface</b>  例： vnmc# show network-interface mgmt	ネットワーク インターフェイスを表示します。

### 例

次に、インターフェイス ID、IP アドレス、ゲートウェイ、およびネットマスクを表形式で表示する例を示します。

```
vnmc# show network-interface mgmt
```

```
VM IP interface:
```

```
ID      OOB IP Addr      OOB Gateway      OOB Netmask
----  -
```

Mgmt	10.193.33.218	10.193.33.1	255.255.255.0
------	---------------	-------------	---------------

```
vnmc#
```

This example shows how to display the interface ID, IP address, gateway, and netmask in list form:

```
vnmc# show network-interface detail
```

```
VM IP interface:
```

```
ID: Mgmt
OOB IP Addr: 10.193.33.218
OOB Gateway: 10.193.33.1
OOB Netmask: 255.255.255.0
```

```
Current Task:
```

```
vnmc#
```

## システム情報の表示

システム情報を表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **show network-interface [detail | fsm status]**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>show network-interface</b>  例： vnmc# show network-interface mgmt	ネットワーク インターフェイスを表示します。

### 例

次に、システムの詳細情報を表示する例を示します。

```
vnmc# show system detail
Systems:
Hostname: vnmc
Address: 10.193.33.218
Current Task:
vnmc#
```

## バージョン番号の表示

アプリケーションのバージョン番号を表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

ローカル管理

### 手順の概要

1. (任意) **connect local-mgmt**

(注)

ステップ 1 は任意です。ローカル管理 CLI で、この show version コマンドを実行することもできます。

2. **show version**

## 手順の詳細 (ローカル管理)

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmcli# local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>show version</b>  例： vnmcli# show version	バージョン番号を表示します。

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>show version</b>  例： vnmcli# show version	バージョン番号を表示します。

## 例

次に、管理コントローラ CLI でバージョン番号を表示する例を示します。

```
vnmcli# show version
```

```
Name           Package           Version GUI
-----
core            Base System       2.0(0) 2.0(0)
service-reg    Service Registry  2.0(0) 2.0(0)
policy-mgr     Policy Manager    2.0(0) 2.0(0)
resource-mgr   Resource Manager  2.0(0) 2.0(0)
vm-mgr         VM manager        2.0(0) none
vnmcli#
```

## テクニカルサポート情報の表示

テクニカル サポート情報を表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ローカル管理

### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **show tech-support**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmcc# local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>show tech-support</b>  例： vnmcc# show tech-support	テクニカル サポート情報を表示します。

## 例

次に、管理コントローラ CLI でバージョン番号を表示する例を示します。

```
vnmcc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc(local-mgmt)# show tech-support
Initiating tech-support information on VNMC-TD.Cisco.com
All tech-support tasks are completed.
The detailed tech-support information is located at volatile:///20101130121144-V
NMC-TD.Cisco.com-techsupport.tgz
vnmcc(local-mgmt)#
```

## 更新履歴の表示

システム イメージの更新履歴を表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ローカル管理

### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **show update-history**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmcc# local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。

<b>ステップ 2</b>	<b>show update-history</b>  例： vnmcc(local-mgmt)# show update-history	システムイメージの更新履歴を表示します。
---------------	--	----------------------

## 例

次に、システムイメージの更新履歴を表示する例を示します。

```
vnmcc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc(local-mgmt)# show update-history
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - -----
-----
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - Starting Apache Update
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - -----
-----
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for httpsCert
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for httpsCACert
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for combinedCert
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for keyFile
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for unsecureport
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for secureport
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for commProto
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for hn
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for domain
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - Cannot find necessary cert values, skipping until
setup has been run
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - -----
-----
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - Completed Apache Update
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - -----
-----
Thu Aug 9 02:06:30 UTC 2012 - Cleaning up extracted files
Thu Aug 9 02:06:30 UTC 2012 - Cleaning up bin file
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - -----
-----
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - Starting Apache Update
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - -----
-----
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found /opt/cisco/cert/CACertificate.pem for
httpsCert
```

```

Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found /opt/cisco/cert/CACertificate.pem for
httpsCACert
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found /opt/cisco/cert/Combined.pem for combinedCert
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found /opt/cisco/cert/privKey.pem for keyFile
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found 80 for unsecureport
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found 443 for secureport
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found HTTPS for commProto
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found vnmc for hn
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found cisco.com for domain
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - Updating httpd.conf for core
dos2unix: converting file /opt/cisco/core/apache/conf/httpd.conf to UNIX
format ...
dos2unix: converting file /opt/cisco/core/apache/conf/httpd.conf to UNIX
format ...
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - Updating httpd-ssl.conf for core
dos2unix: converting file /opt/cisco/core/apache/conf/extra/httpd-ssl.conf to
UNIX format ...
dos2unix: converting file /opt/cisco/core/apache/conf/extra/httpd-ssl.conf to
UNIX format ...
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - -----
-----

Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - Completed Apache Update
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - -----
-----

dos2unix: converting file /etc/sysconfig/iptables-config to UNIX format ...
dos2unix: converting file /etc/sysconfig/clock to UNIX format ...
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - -----
-----

Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog -
filename = messages
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - -----
-----

dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - -----
-----

Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - Finished logrotate mgmt
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - -----
-----

Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - -----
-----

Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog - size =
4194303
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - -----
-----

dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - -----
-----

Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - Finished logrotate mgmt
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - -----
-----

dos2unix: converting file /etc/sysconfig/clock to UNIX format ...
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - -----
-----

```



```
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog -
filename = messages
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - -----
-----
dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - -----
-----
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - Finished logrotate mgmt
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - -----
-----
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - -----
-----
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog - size =
4194303
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - -----
-----
dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - -----
-----
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - Finished logrotate mgmt
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - -----
-----
dos2unix: converting file /etc/sysconfig/clock to UNIX format ...
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - -----
-----
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog -
filename = messages
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - -----
-----
dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - -----
-----
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - Finished logrotate mgmt
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - -----
-----
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - -----
-----
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog - size
= 4194303
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - -----
-----
dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - -----
-----
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - Finished logrotate mgmt
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - -----
-----
vnmc(local-mgmt)#
```

## FSM の表示

FSM を表示できます。FSM とは、有限状態マシンのことです。FSM を使用して、設定またはインベントリタスクの進捗状況やステータスを追跡します。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ローカル管理

### 手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **show fsm {status | task}**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect local-mgmt</b>  例： vnmcli# local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<b>show fsm</b>  例： vnmcli /system # show fsm status	FSM を表示します。

### 例

次に、FSM のステータスを表示する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # show fsm status
FSM 1:
Remote Result: Not Applicable
Remote Error Code: None
Remote Error Description:
Status: 0
Previous Status: 0
Timestamp: Never
Try: 0
Progress (%): 100
Current Task:
vnmcli /system #
```

## 第3章 ファイルバックアップと管理データのエクスポートおよびインポートの管理

ここでは、ファイルバックアップと管理データを管理するための手順を説明します。

- Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元
- ファイルのバックアップの操作
- 管理データのエクスポートおよびインポートの使用

### Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元

バックアップ設定には、設定とそれに関連する詳細などのバックアップのすべてが含まれています。これは、バイナリ バックアップです。

Cisco VNMC ソフトウェアをバックアップ設定に復元するには、次の手順に従います。

- ステップ 1. Cisco VNMC 仮想マシン (VM) をインストールします。詳細については、『Cisco Virtual Security Gateway, Release 4.2(1)VSG1(1)』および『Cisco Virtual Network Management Center, Release 2.0 Installation Guide』を参照してください。

**注：**既存の VNMC ソフトウェアを復元する場合、ステップ 1 の実行はオプションです。

- ステップ 2. Cisco VSG ポリシー エージェントをアンインストールします。

このタスク用の Cisco VSG コンソールにセキュア シェルを接続します。このステップではトラフィックが中断されることはありません。

```
vsg# conf t
vsg (config)# vnm-policy-agent
vsg (config-vnm-policy-agent)# no policy-agent-image
```

**注：**復元する Cisco VNMC に関連付けたすべての Cisco VSG で、このステップを実行します。

- ステップ 3. ASA 1000V ポリシー エージェントをディセーブルにします。

このタスク用の ASA 1000V コンソールにセキュア シェルを接続します。

```
ciscoasa> enable
Password:
ciscoasa# configure terminal
ciscoasa(config)# no vnm policy-agent
```

**注：**復元する Cisco VNMC に関連付けたすべての ASA 1000V で、このステップを実行します。

- ステップ 4. VSM ポリシー エージェントをアンインストールします。

このタスク用の VSM コンソールにセキュア シェルを接続します。このステップではトラフィックが中断されることはありません。

```
vsm# conf t
vsm (config)# vnm-policy-agent
vsm (config-vnm-policy-agent)# no policy-agent-image
```

**注：**復元する Cisco VNMC に関連するすべての Cisco VSM に対してこのステップを実行します。

- ステップ 5. Cisco VNMC データベースを復元します。

このタスク用の Cisco VNMC CLI にセキュア シェルを接続します。Cisco VNMC バックアップの場所に応じて、ファイル転送プロトコル (FTP)、セキュア コピー (SCP)、またはセキュア ファイル転送プロトコル (SFTP) を使用して復元します。

```
vnmc# connect local-mgmt
vnmc(local-mgmt)# restore scp://username@server/parthtofile
```

**注：**バックアップおよび復元操作に TFTP を使用しないでください。

- ステップ 6. Cisco VNMCI GUI で、[Administration] > [Service Registry] > [Clients] を選択し、次のステップに進みます。
- 登録された各 VSM で、動作ステータスに lost-visibility と表示されるまで待ちます。
  - 各 VSM を選択し、[Delete Client] をクリックします。

- ステップ 7. Cisco VNMCI GUI で、[Resource Management] > [Resources] > [Virtual Supervisor Modules] を選択し、削除した VSM が表示されていないことを確認します。

- ステップ 8. VSM ポリシー エージェントを再インストールします。

**注：**VSM ポリシー エージェントをアップグレードする必要がある場合は、新しいソフトウェアをインストールしてください。

```
VSM# conf t
VSM (config)# vnmci-policy-agent
VSM (config-vnmci-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:vnmci-
vsmpa.2.0.1g.bin
```

- ステップ 9. すべての VSM がサービス レジストリに登録され、[Resource Management] > [Resources] > [Virtual Supervisor Modules] に表示されるまで待ちます。

- ステップ 10. Cisco VSG ポリシー エージェントを再インストールします。

**注：**Cisco VSG ポリシー エージェントをアップグレードする必要がある場合は、ここで新しいソフトウェアをインストールします。

```
VSG# conf t
VSG (config)# vnmci-policy-agent
VSG (config-vnmci-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:vnmci-
vsqpa.1.3.1c.bin
```

- ステップ 11. ASA 1000V ポリシー エージェントをイネーブルにします。

```
ciscoasa> enable
Password:
ciscoasa# configure terminal
ciscoasa(config)# vnmci policy-agent
ciscoasa(config-vnmci-policy-agent)# registration host n.n.n.n
ciscoasa(config-vnmci-policy-agent)# shared-secret MySharedSecret
```

- ステップ 12. 復元プロセスの完了後、次のステータスを確認します。

**注：**セットアップ環境により、復元プロセスに数分を要する場合があります。

- Cisco VSG CLI で、設定が以前の状態に復元されていることを確認します。
- Cisco ASA 1000V で、設定が以前の状態に復元されていることを確認します。
- Cisco VNMCI GUI で、オブジェクトおよびポリシーが以前の状態に復元されていることを確認します。

## ファイルのバックアップの操作

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- ファイルのバックアップの作成
- ファイルバックアップの削除
- ファイルバックアップの表示
- ファイルバックアップのイネーブル化
- ファイルバックアップのディセーブル化
- ファイルバックアップの属性の使用

### ファイルのバックアップの作成

ファイルのバックアップを作成できます。

注：DTFTP はバックアップ データに使用しません。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **scope system**
2. **create backup {ftp:<://user@location/file> | scp:<://user@location/file> | sftp:<://user@location/file>} full-state {disabled | enabled}**
3. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>create backup</b>  例： vnmcli /system # create backup ftp://de@testhostname/testfile full-state enabled	ファイルバックアップを作成します。
ステップ 3	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

#### 例

次に、ファイルバックアップを作成する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # create backup ftp://de@testhostname/testfile full-state enabled
Password:
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

## ファイルバックアップの削除

ファイルのバックアップを削除できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **scope system**
2. **delete backup** <hostname or ip-address>
3. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>delete backup</b>  例： vnmcli /system # delete backup testhostname	ファイルバックアップを削除します。
ステップ 3	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、ファイルバックアップを削除する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # delete backup testhostname
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #
```

## ファイルバックアップの表示

ファイルバックアップのリストを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **scope system**
2. **show backup**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>show backup</b>  例： vnmcli /system # show backup	ファイルバックアップのリストを表示します。

## 例

次に、ファイルバックアップのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # show backup
Backup:
Hostname      Type          User          Protocol Administrative State Description
-----
testhostname  Full State   testOne      Ftp          Enabled
testhostname2 Full State   testTwo      Ftp          Enabled
vnmcli /system #
```

## ファイルバックアップのイネーブル化

ファイルバックアップをイネーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup <hostname or ip-address>**
3. **enable**
4. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>delete backup</b>  例： vnmcli /system # delete backup testhostname	ファイルバックアップを削除します。
ステップ 3	<b>enable</b>  例： vnmcli /system/backup # enable	バックアップをイネーブルにします。

ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。
--------	---	-----------------

## 例

次に、ファイルバックアップをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcc# scope system
vnmcc /system # scope backup testhostname
vnmcc /system/backup # enable
Password:
vnmcc /system/backup* # commit-buffer
vnmcc /system/backup #
```

## ファイルバックアップのディセーブル化

ファイルのバックアップをディセーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup <hostname or ip-address>**
3. **disable**
4. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>delete backup</b>  例： vnmcc /system # delete backup testhostname	ファイルバックアップを削除します。
ステップ 3	<b>disable</b>  例： vnmcc /system/backup # disable	バックアップをディセーブルにします。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、ファイルバックアップをディセーブルにする例を示します。

```
vnmcc# scope system
vnmcc /system # scope backup testhostname
```



```

vnmcli /system/backup # disable
Password:
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #

```

## ファイルバックアップの属性の使用

ここでは、次の内容について説明します。

- ファイルバックアップの説明属性の設定
- ファイルバックアップに対するパスワード属性の設定
- ファイルバックアップに対するプロトコル属性の設定
- ファイルバックアップのリモートファイル属性の設定
- ファイルバックアップに対するタイプ属性の設定
- ファイルバックアップに対するユーザ属性の設定

## ファイルバックアップの説明属性の設定

説明属性を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup <hostname or ip-address>**
3. **set descr**
4. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>delete backup</b>  例： vnmcli /system # delete backup testhostname	ファイルバックアップを削除します。
ステップ 3	<b>set descr</b>  例： vnmcli /system/backup # set descr testAll	説明属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、説明属性を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope backup testhostname
vnmc /system/backup # set descr testAll
vnmc /system/backup* # commit-buffer
vnmc /system/backup #
```

**ファイルバックアップに対するパスワード属性の設定**  
パスワード属性を設定できます。

## はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

## 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup <hostname or ip-address>**
3. **set password**
4. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>delete backup</b>  例： vnmc /system # delete backup testhostname	ファイルバックアップを削除します。
ステップ 3	<b>set password</b>  例： vnmc /system/backup # set password	パスワード属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、パスワード属性を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope backup testhostname
vnmc /system/backup # set password
Password:
vnmc /system/backup* # commit-buffer
vnmc /system/backup #
```

## ファイルバックアップに対するプロトコル属性の設定

リモート ファイル名を設定できます。

注：DTFTP はバックアップ データに使用しません。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname or ip-address>
3. **set passwordset protocol** {ftp | scp | sftp}
4. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>delete backup</b>  例： vnmcli /system # delete backup testhostname	ファイルバックアップを削除します。
ステップ 3	<b>set protocol</b>  例： vnmcli /system/backup # set protocol scp	プロトコル属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、プロトコル属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set protocol scp
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

## ファイルバックアップのリモート ファイル属性の設定

リモート ファイル属性を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

## 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname or ip-address>
3. **set remote-file** <remote file full path>
4. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>delete backup</b>  例： vnmcli /system # delete backup testhostname	ファイル バックアップを削除します。
ステップ 3	<b>set remote-file</b>  例： vnmcli /system/backup # set remote-file /directory/file_a	リモート ファイル属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、リモート ファイル属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set remote-file /directory/file_a
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

## ファイル バックアップに対するタイプ属性の設定

タイプ属性を設定できます。

## はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

## 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname or ip-address>
3. **set type** {full-state}
4. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>delete backup</b>  例： vnmcli /system # delete backup testhostname	ファイル バックアップを削除します。
ステップ 3	<b>set type</b>  例： vnmcli /system/backup # set type full-state	タイプ属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、タイプ属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set type full-state
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

**ファイル バックアップに対するユーザ属性の設定**  
ユーザ属性を設定できます。

## はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

## 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup <hostname or ip-address>**
3. **set user <user-name>**
4. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>delete backup</b>  例： vnmcli /system # delete backup testhostname	ファイル バックアップを削除します。

ステップ 3	<b>set user</b> 例： vnmcc /system/backup # set user techs	ユーザ属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b> 例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、ユーザ属性を設定する例を示します。

```
vnmcc# scope system
vnmcc /system # scope backup testhostname
vnmcc /system/backup # set user techs
vnmcc /system/backup* # commit-buffer
vnmcc /system/backup #
```

## 管理データのエクスポートおよびインポートの使用

データ エクスポートには設定だけが含まれます。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- 管理データのエクスポート サービスの作成
- 管理データのエクスポート サービスの削除
- 管理データのエクスポート サービスの表示
- 管理データのエクスポート サービスのイネーブル化
- 管理データのエクスポート サービスのディセーブル化
- 管理データのインポート サービスの作成
- 管理データのインポート サービスの削除
- 管理データのインポート サービスの表示
- 管理データのインポート サービスのイネーブル化
- 管理データの属性の使用

### 管理データのエクスポート サービスの作成

VNMC 管理データのエクスポート サービスを作成できます。

注：インポートおよびエクスポート操作に TFTP を使用しないでください。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname or ip-address>
3. **create export** {ftp:<://user@location/file> | scp:<://user@location/file> | sftp:<://user@location/file>} {config-all | config-logical | config-system} {disabled | enabled}
4. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>create export</b>  例： vnmcli /system # create export ftp://de@testhostname/PA12 config-all enabled	管理データのエクスポート サービスをイネーブルにします。
ステップ 3	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、管理データのエクスポート サービスを作成する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # create export ftp://de@testhostname/PA12 config-all enabled
Password:
vnmc /system/export* # commit-buffer
vnmc /system/export #
```

## 管理データのエクスポート サービスの削除

管理データのエクスポート サービスを削除できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **delete export** <hostname or ip-address>
3. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>delete export</b>  例： vnmc /system # delete export testhostname	エクスポート サービスを削除します。
ステップ 3	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、管理データのエクスポート サービスを削除する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # delete export testhostname
vnmc /system* # commit-buffer
vnmc /system #
```

## 管理データのエクスポート サービスの表示

エクスポート サービスのリストを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。



## CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **show export**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>show export</b>  例： vnmcli /system # show export	エクスポート サービスのリストを表示します。

### 例

次に、エクスポート サービスのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli# scope system
```

```
vnmcli /system # show export
```

```
Management Data Export:
```

```
Hostname      User          Protocol Data Export Type Administrative State  
Description
```

```
-----  
--
```

```
testhostname  test         Ftp      Config All      Enabled
```

```
testhostname2 test         Ftp      Config System   Enabled
```

```
vnmcli /system #
```

## 管理データのエクスポート サービスのイネーブル化

管理データのエクスポート サービスをイネーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export <hostname or ip-address>**
3. **enable**
4. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。

ステップ 2	<b>scope export</b> 例： vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ 3	<b>enable</b> 例： vnmcli /system/export # enable	管理データのエクスポート サービスをイネーブルにします。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b> 例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、管理データのエクスポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export testhostname
vnmcli /system/export # enable
Password:
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

## 管理データのエクスポート サービスのディセーブル化

管理データのエクスポート サービスをディセーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export <hostname or ip-address>**
3. **disable**
4. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b> 例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope export</b> 例： vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ 3	<b>disable</b> 例： vnmcli /system/export # disable	管理データのエクスポート サービスをディセーブルにします。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b> 例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、管理データのエクスポートサービスをディセーブルにする例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope export testhostname
vnmc /system/export # disable
Password:
vnmc /system/export* # commit-buffer
vnmc /system/export #
```

## 管理データのインポートサービスの作成

VNMC 管理データのインポート サービスを作成できます。

注：インポートおよびエクスポート操作に TFTP を使用しないでください。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **create import {ftp:<://user@location/file> | scp:<://user@location/file> | sftp:<://user@location/file>} {merge} {disabled | enabled}**
3. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>create import</b>  例： vnmc /system # create import ftp://de@testhostname/PA12 merge enabled	管理データのインポート サービスをイネーブルにします。
ステップ 3	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、管理データのインポート サービスを作成する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # create import ftp://de@testhostname/PA12 merge enabled
Password:
vnmc /system/import* # commit-buffer
vnmc /system/import #
```

## 管理データのインポート サービスの削除

管理データのインポート サービスを削除できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **scope system**
2. **delete import <hostname or ip-address>**
3. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>delete import</b>  例： vnmcli /system # delete import testhostname	インポート サービスを削除します。
ステップ 3	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、インポート サービスを削除する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # delete import testhostname
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #
```

## 管理データのインポート サービスの表示

インポート サービスのリストを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **scope system**
2. **show import**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>show import</b>  例： vnmcli /system # show import	インポート サービスのリストを表示します。

## 例

次に、インポート サービスのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # show import
Management Data Import:
-----
Hostname      User   Protocol Data Import Action Administrative State Description
-----
testhostname  test   Ftp      Replace          Enabled
testhostname2 test   Ftp      Replace          Enabled
vnmcli /system #
```

## 管理データのインポート サービスのイネーブル化

管理データのインポート サービスをイネーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import <hostname or ip-address>**
3. **enable**
4. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope import</b>  例： vnmcli /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ 3	<b>enable</b>  例： vnmcli /system/export # enable	管理データのインポート サービスをイネーブルにします。

ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。
--------	--	-----------------

## 例

次に、管理データのインポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope import testhostname
vnmc /system/import # enable
Password:
vnmc /system/import* # commit-buffer
vnmc /system/import #
```

## 管理データのインポート サービスのディセーブル化

管理データのインポート サービスをディセーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import <hostname or ip-address>**
3. **disable**
4. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope import</b>  例： vnmc /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ 3	<b>disable</b>  例： vnmc /system/import # disable	管理データのインポート サービスをディセーブルにします。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、管理データのインポート サービスをディセーブルにする例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope import testhostname
```

```

vnmcli /system/import # disable
Password:
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #

```

## 管理データの属性の使用

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- インポートに対するアクション属性の設定
- エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定
- エクスポートおよびインポートに対するパスワード属性の設定
- エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定
- エクスポートおよびインポートに対するリモート ファイル プレフィックス属性の設定
- エクスポートのタイプ属性の設定
- エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定

## インポートに対するアクション属性の設定

アクション属性を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import <hostname or ip-address>**
3. **set action {merge}**
4. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope import</b>  例： vnmcli /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ 3	<b>set action</b>  例： vnmcli /system/import # set action merge	アクション属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、アクション属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
```

```

vnmcli /system # scope import testhostname
vnmcli /system/import # set action merge
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #

```

### エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定

説明属性を設定できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export <hostname or ip-address> | scope import <hostname or ip-address>**
3. **set descr <description>**
4. **commit-buffer**

#### 手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope export</b>  例： vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ 3	<b>set descr</b>  例： vnmcli /system/export # set descr testA	説明属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

#### 手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope import</b>  例： vnmcli /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ 3	<b>set descr</b>  例： vnmcli /system/export # set descr testA	説明属性を設定します。



ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。
--------	--	-----------------

## 例

次に、エクスポート モードで説明属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export testhostname
vnmcli /system/backup # set descr testA
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup* #
```

## エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定

プロトコル属性を設定できます。

注：インポートおよびエクスポート操作に TFTP を使用しないでください。

## はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export <hostname or ip-address> | scope import <hostname or ip-address>**
3. **set protocol {ftp | scp | sftp}**
4. **commit-buffer**

### 手順の詳細（エクスポート モード）

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope export</b>  例： vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ 3	<b>set protocol</b>  例： vnmcli /system/export # set protocol ftp	プロトコル属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope import</b>  例： vnmcli /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ 3	<b>set protocol</b>  例： vnmcli /system/export # set protocol ftp	プロトコル属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

## 例

次に、インポート モードでプロトコル属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope import testhostname
vnmcli /system/import # set protocol ftp
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

## エクスポートおよびインポートに対するリモート ファイル プレフィックス属性の設定

リモート ファイルのプレフィックス属性を、そのリモート ファイルのプレフィックス (/pathofile/file) またはフルパス (/pathofile/file.tgz) に設定できます。

## はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

## 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export <hostname or ip-address> | scope import <hostname or ip-address>**
3. **set remote-file-prefix </path/filename>| </path/filename.tgz>**
4. **commit-buffer**

## 手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope export</b>  例： vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。

ステップ 3	<b>set remote-file-prefix</b>  例： vnmc /system/export # set remote-file-prefix /test	リモート ファイル プレフィックス属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

#### 手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope import</b>  例： vnmc /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ 3	<b>set remote-file-prefix</b>  例： vnmc /system/export # set remote-file-prefix /test	リモート ファイル プレフィックス属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

#### 例

次に、エクスポート モードでリモート ファイル プレフィックス属性を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope export testhostname
vnmc /system/export # set remote-file-prefix /test
vnmc /system/export* # commit-buffer
vnmc /system/export #
```

#### エクスポートのタイプ属性の設定

タイプ属性を設定できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

管理コントローラ

#### 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export <hostname or ip-address>**
3. **set type <hostname or ip-address> {config-all | config-logical | config-system}**
4. **commit-buffer**

## 手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope export</b>  例： vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ 3	<b>set type</b>  例： vnmcli /system/export # set type config-all	タイプ属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

## 例

次に、エクスポート モードでタイプ属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope export testhostname
vnmcli /system/export # set type config-all
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

## エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定

ユーザ属性を設定できます。

## はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

管理コントローラ

## 手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export <hostname or ip-address> | scope import <hostname or ip-address>**
3. **set user <user-name>**
4. **commit-buffer**

## 手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<b>scope export</b>  例： vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。

ステップ 3	<b>set user</b>  例： vnmcc /system/export # set user techs	ユーザ属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

#### 手順の詳細（インポートモード）

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>scope system</b>  例： vnmcc# scope system	システムモードを開始します。
ステップ 2	<b>scope import</b>  例： vnmcc /system # scope import testhostname	インポートモードを開始します。
ステップ 3	<b>set user</b>  例： vnmcc /system/export # set user techs	ユーザ属性を設定します。
ステップ 4	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

#### 例

次に、インポートモードでユーザ属性を設定する例を示します。

```
vnmcc# scope system
vnmcc /system # scope import testhostname
vnmcc /system/import # set user techs
vnmcc /system/import* # commit-buffer
vnmcc /system/import #
```

## 第4章 ログ、イベント、および障害の管理

この章では VNMC 管理ロギングを管理する手順について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [管理ログの使用](#)
- [障害の確認](#)
- [監査ログの表示](#)
- [イベントの表示](#)
- [障害の表示](#)

### 管理ログの使用

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [ログの重大度レベルとログ サイズの設定](#)
- [管理ログ レベルのリセット](#)
- [管理ログ パラメータの保存](#)
- [管理ログの表示](#)

#### ログの重大度レベルとログ サイズの設定

ログの重大度レベルとログ サイズを設定できます。

##### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

##### CLI

管理コントローラ

ポリシー マネージャ

リソース マネージャ

サービス レジストリ

仮想マシン マネージャ

##### 手順の概要

1. (Optional) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**

**注：**ステップ 1 はオプションです。管理コントローラ CLI で、**set** コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. **scope monitoring**
3. **scope sysdebug**
4. **scope mgmt-logging**
5. **set [ all { crit | debug0 | debug1 | debug2 | debug3 | debug4 | info | major | minor | warn } | file size <size> | module <Name> { crit | debug0 | debug1 | debug2 | debug3 | debug4 | info | major | minor | warn } ]**

##### 例

次に、リソース マネージャ CLI ですべてのロギング ファイルに critical の重大度レベルを指定する例を示します。

```
vnmc# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
```

```
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(resource-mgr)# scope monitoring
vnmcli(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # set all crit
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #
```

## 管理ログ レベルのリセット

管理ログ レベルをリセットできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

ポリシー マネージャ

リソース マネージャ

サービス レジストリ

仮想マシン マネージャ

### 手順の概要

1. (Optional) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**

注：ステップ 1 はオプションです。管理コントローラ CLI で **reset** コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. **scope monitoring**
3. **scope sysdebug**
4. **scope mgmt-logging**
5. **reset**

### 例

次に、リソース マネージャ CLI で管理ロギング レベルをリセットする例を示します。

```
vnmcli# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
```

```
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(resource-mgr)# scope monitoring
vnmcli(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # reset
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #
```

## 管理ログ パラメータの保存

管理ログ パラメータを保存できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

ポリシー マネージャ

リソース マネージャ

サービス レジストリ

仮想マシン マネージャ

### 手順の概要

1. (Optional) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**

注：ステップ 1 はオプションです。管理コントローラ CLI で、**save** コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. **scope monitoring**
3. **scope sysdebug**
4. **scope mgmt-logging**
5. **save**

### 例

次に、リソース マネージャ CLI で管理ロギング レベルをリセットする例を示します。

```
vnmcli# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(resource-mgr)# scope monitoring
vnmcli(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
```



```
vnmc(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # save
vnmc(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #
```

## 管理ログの表示

管理ログを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

ポリシー マネージャ

リソース マネージャ

サービス レジストリ

仮想マシン マネージャ

### 手順の概要

1. (Optional) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**

注：ステップ 1 はオプションです。管理コントローラ CLI で、**show** コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. **scope monitoring**
3. **scope sysdebug**
4. **scope mgmt-logging**
5. **show**

### 例

次に、リソース マネージャ CLI ですべてのログ ファイルを表示する例を示します。

```
vnmc# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.
The copyrights to certain
works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL)Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(resource-mgr) # scope monitoring
vnmc(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnmc(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
vnmc(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # show
Log File Size Limit: 10000000
Name                Level  Default Level
-----
agdriver            Info   Info
ape                 Info   Info
```

---

app_sam_cim	Info	Info
app_sam_dme	Info	Info
app_sam_ucsmAG	Info	Info
app_unittest_testsvc	Info	Info
auth	Info	Info
autocond	Info	Info
bio_stream	Info	Info
callhome	Info	Info
catalog	Info	Info
char_stream	Info	Info
core_transactor	Info	Info
core_utils	Info	Info
doer	Info	Info
event_channel	Info	Info
exception_handling	Info	Info
fault	Info	Info
filter	Info	Info
fsm	Info	Info
fw	Info	Info
http_client	Info	Info
log	Info	Info
logical	Info	Info
meta	Info	Info
method	Info	Info
mgmt	Info	Info
mgmtif	Info	Info
mit_init	Info	Info
mo	Info	Info
mo_qualifier	Info	Info
mod_nuova	Info	Info
net	Info	Info
org	Info	Info
os	Info	Info
pam_proxy	Info	Info
pool	Info	Info
proc_app	Info	Info
prt	Info	Info
sam_extXMLApi_	Info	Info
sam_sec	Info	Info
sam_sessionmgrAG	Info	Info
sam_ucssh	Info	Info
smbios	Info	Info
snmp	Info	Info
solprot	Info	Info
stats	Info	Info
sysdebug	Info	Info
top	Info	Info
tx	Info	Info

```
xml_parser          Info    Info
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #
event_              Info    Info
```

## 障害の確認

障害を確認できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

ポリシー マネージャ

リソース マネージャ

サービス レジストリ

仮想マシン マネージャ

### 手順の概要

1. (Optional) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**

注：ステップ 1 はオプションです。管理コントローラ CLI では、**acknowledge fault** コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. **scope monitoring**
3. **acknowledge fault <fault-id>**
4. **commit-buffer**

### 例

次に、管理コントローラ CLI で障害の確認応答を行う例を示します。

```
vnmcli# scope monitoring
vnmcli /monitoring # acknowledge fault 10194
vnmcli /monitoring* # commit-buffer
vnmcli /monitoring #
```

## 監査ログの表示

監査ログのリストを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

ポリシー マネージャ

リソース マネージャ

サービス レジストリ

仮想マシン マネージャ

## 手順の概要

1. (Optional) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**

注：ステップ 1 はオプションです。管理コントローラ CLI で、**show audit-logs**

コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. **scope monitoring**
3. **show audit-logs**

## 例

次に、管理コントローラ CLI で監査ログのリストを表示する方法を示します。

```
vnmc# scope monitoring
vnmc /monitoring # show audit-logs
Audit trail logs:
Creation          Time           User ID        Action          Description
-----
2010-11-29       T14:56:29.195 admin 10615     Modification    sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29       T14:56:29.195 admin 10616     Modification    sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29       T14:56:29.195 admin 10617     Modification    sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29       T14:56:29.19  admin 10607     Modification    sysdebug mgmt log
2010-11-29       T14:56:29.194 admin 10608     Modification    sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29       T14:56:29.194 admin 10609     Modification    sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29       T14:56:29.194 admin 10610     Modification    sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29       T14:56:29.194 admin 10611     Modification    sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29       T14:56:29.194 admin 10612     Modification    sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29       T14:56:29.194 admin 10613     Modification    sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29       T14:56:29.194 admin 10614     Modification    sysdebug mgmt log
vnmc /monitoring #
```

## イベントの表示

イベントのリストを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

ポリシー マネージャ

リソース マネージャ

サービス レジストリ  
仮想マシン マネージャ

### 手順の概要

1. (Optional) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**

注：ステップ 1 はオプションです。管理コントローラ CLI で、**show event**

コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. **scope monitoring**
3. **show event**

### 例

次に、ポリシー マネージャ CLI でイベントのリストを表示する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr) # scope monitoring
vnmc(policy-mgr) /monitoring # show event
Creation Time          ID          Code          Description
-----
2010-11-22T12:09:26.369 10161      E4194467 [FSM:END]: Resolve Mgmt Controller Fs
m(FSM:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm)
2010-11-22T12:09:26.368 10160      E4194465 [FSM:STAGE:END]: Resolve Mgmt Control
ler FSM Execute(FSM-STAGE:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:26.367 10158      E4194465 [FSM:STAGE:STALE-SUCCESS]: Resolve Mg
mt Controller FSM Execute(FSM-STAGE:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm:
Execute)
2010-11-22T12:09:26.018 10156      E4194465 [FSM:STAGE:ASYNC]: Resolve Mgmt Contr
oller FSM Execute(FSM-STAGE:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:26.017 10153      E4194447 [FSM:END]: Service Registration Fsm(F
SM:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm)
2010-11-22T12:09:26.017 10154      E4194464 [FSM:BEGIN]: Resolve Mgmt Controller
Fsm(FSM:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm)
2010-11-22T12:09:26.017 10155      E4194464 [FSM:STAGE:END]: (FSM-STAGE:sam:dme:O
bserveObservedResolveControllerFsm:begin)
2010-11-22T12:09:26.014 10148      E4194445 [FSM:STAGE:END]: Register FSM Execute
(FSM-STAGE:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:25.991 10144      E4194445 [FSM:STAGE:STALE-SUCCESS]: Register F
SM Execute(FSM-STAGE:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm:Execute)
```

```

2010-11-22T12:09:25.558 10143 E4194445 [FSM:STAGE:ASYNC]: Register FSM Execute (FSM-STAGE:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:25.557 10141 E4194444 [FSM:BEGIN]: Service Registration Fsm (FSM:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm)
2010-11-22T12:09:25.557 10142 E4194444 [FSM:STAGE:END]: (FSM-STAGE:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm:begin)
vnmcli(policy-mgr) /monitoring #

```

## 障害の表示

障害のリストを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

管理コントローラ

ポリシー マネージャ

リソース マネージャ

サービス レジストリ

仮想マシン マネージャ

### 手順の概要

1. (Optional) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**

**注** : ステップ 1 はオプションです。管理コントローラ CLI で、**show fault**

コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. **scope monitoring**

3. **show fault**

### 例

次に、管理コントローラ CLI で障害のリストを表示する方法を示します。

```

vnmcli# scope monitoring
vnmcli /monitoring # show fault
Severity Code      Last Transition Time      ID      Description
-----
Critical F999556 2010-11-24T18:38:17.345 20133 [FSM:FAILED]: internal
system backup (FSM:sam:dme:MgmtBackupBackup)
Warning F16516 2010-11-24T18:38:17.344 20131 [FSM:STAGE:FAILED]: internal
system backup (FSM-STAGE:sam:dme:MgmtBackupBackup:upload)
Warning F77956 2010-11-24T18:38:17.344 20129 [FSM:STAGE:REMOTE-ERROR]:
Result: end-point-failed Code: unspecified Message: Permission denied
(sam:dme:MgmtBackupBackup:upload)
vnmcli /monitoring #

```

## 第5章 デバイス プロファイルの管理

ここでは、デバイス プロファイルを管理するための手順について説明します。

- DNS サーバのホスト名の作成
- NTP サーバのホスト名の作成
- DNS サーバのホスト名の削除
- NTP サーバのホスト名の削除
- ドメイン名の変更
- デバイス プロファイルの表示
- コア ファイル ポリシーの設定
- 障害ポリシーの設定
- ログ ポリシーの設定
- syslog ポリシーの設定
- 時間帯の設定
- DNS サーバの表示
- ドメイン名の表示
- NTP サーバの表示

### DNS サーバのホスト名の作成

ドメイン ネーム サーバ (DNS) のホスト名を作成できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **create dns <ip-address>**
5. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。

ステップ 4	<b>create dns</b>  例： vnmcc (policy-mgr) /org/deviceprofile # create dns 209.165.200.225	DNS ホスト名を作成します。 a.b.c.d 形式の IP アドレスとして ホスト名を指定します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、DNS ホスト名を作成する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc (policy-mgr) # scope org
vnmcc (policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcc (policy-mgr) /org/deviceprofile # create dns 209.165.200.225
vnmcc (policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcc (policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

## NTP サーバのホスト名の作成

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバのホスト名を作成できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **create ntp-server <server-name>**
5. **commit-buffer**



## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<b>create ntp-server</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # create ntp-server networkTime	NTP サーバのホスト名を作成します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、NTP サーバのホスト名を作成する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # create ntp-server networkTime
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

## DNS サーバのホスト名の削除

ドメイン ネーム サーバ (DNS) のホスト名を削除できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **delete dns <ip-address>**
5. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<b>delete dns</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete dns 209.165.200.225	DNS ホスト名を削除します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

### 例

次に、DNS サーバのホスト名を削除する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
```

```

http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete dns 209.165.200.225
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #

```

## NTP サーバのホスト名の削除

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバのホスト名を削除できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **delete ntp-server <server-name>**
5. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<b>delete ntp-server</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete ntp-server networkTime	NTP サーバのホスト名を削除します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

### 例

次に、NTP サーバのホスト名を削除する例を示します。

```

vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center

```

TAC support: <http://www.cisco.com/tac>  
 Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.  
 The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third parties and used and distributed under license. Certain components of this software are licensed under Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at <http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php> and <http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php>

```

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete ntp-server networkTime
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #
  
```

## ドメイン名の変更

ドメイン名を設定できます。

**注意:** ドメイン名を変更すると、変更の影響をユーザに警告することを目的に、新しい証明書が生成されます。VM Manager 拡張ファイルを再度エクスポートし、vCenter にインストールする必要があります。証明書がインストールされているすべての Web ブラウザ クライアントに、新しい証明書のプロンプトが表示されます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **scope domain-name <name-of-the-domain-name-entry>**
5. **set domain <new-domain-name>**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例: vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。

ステップ 4	<b>scope domain-name</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # scope domain-name default	ドメイン名モードを開始します。
ステップ 5	<b>set domain</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name # set domain testOne	ドメイン名を設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、ドメイン名を設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # scope domain-name default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name # set domain testOne
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name #
```

## デバイス プロファイルの表示

デバイス プロファイルを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **show deviceprofile**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>show deviceprofile</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # show deviceprofile	デバイス プロファイルを表示します。

## 例

次に、デバイス プロファイルを表示する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # show deviceprofile
Name: default
Core File Policy:
Fault Policy: default
Log File Policy: default
Syslog Policy:
vnmc(policy-mgr) /org #
```

## コア ファイル ポリシーの設定

コア ファイル ポリシーを設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**

3. **scope deviceprofile** <profile-name>
4. **set corefile** <policy-name>
5. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<b>set corefile</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # set corefile EaCorePA13	コア ファイルのポリシーを設定します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

#### 例

次に、コア ファイル ポリシーを設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # set corefile EaCorePA13
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

## 障害ポリシーの設定

障害ポリシーを設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **set faultpolicy <policy-name>**
5. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<b>set faultpolicy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # set faultpolicy EaFaultPA12	障害ポリシーを設定します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、障害ポリシーを設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
```



```

such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # set faultpolicy EaFaultPA12
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #

```

## ログ ポリシーの設定

ログ ポリシーを設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **set log <policy-name>**
5. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<b>set log</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # set log EaLogPA12	ログ ポリシーを設定します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、ログ ポリシーを設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
```

```

Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set log EaLogPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #

```

## syslog ポリシーの設定

syslog ポリシーを設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **set syslog <policy-name>**
5. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<b>set syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set syslog EaSysPA12	syslog ポリシーを設定します。

ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。
--------	--	-----------------

## 例

次に、syslog ポリシーを設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # set syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

## 時間帯の設定

時間帯を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **set timezone <zone-name>**
5. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。

ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<b>set timezone</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set timezone pacific	時間帯を設定します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、時間帯を設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set timezone pacific
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

## DNS サーバの表示

DNS サーバを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **show dns**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<b>show dns</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # show dns	DNS サーバを表示します。

## 例

次に、DNS サーバを表示する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # show dns
Domain Name Servers:
IP Address: 209.165.200.226
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

## ドメイン名の表示

ドメイン名を表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

## 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **show domain-name**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<b>show domain-name</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # show domain-name	ドメイン名を表示します。

## 例

次に、ドメイン名を表示する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
VNMC(policy-mgr)# scope org
VNMC(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
VNMC(policy-mgr) /org/deviceprofile # show domain-name
Domain Name:
Domain
-----
Cisco.com
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

## NTP サーバの表示

NTP サーバを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **show ntp**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope deviceprofile</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<b>show ntp</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # show ntp	NTP サーバを表示します。

### 例

次に、NTP サーバを表示する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # show ntp
```

---

NTP Servers:

Name: EaTest

VNMC(policy-mgr) /org/deviceprofile #



## 第 6 章 ポリシーの管理

ここでは、ポリシーの管理に関する情報について説明します。

- [コア ファイル ポリシーの使用](#)
- [障害ポリシーの操作](#)
- [ログ ポリシーの使用](#)
- [syslog ポリシーの使用](#)

### コア ファイル ポリシーの使用

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [コア ファイル ポリシーの作成](#)
- [コア ファイル ポリシーの表示](#)
- [コア ファイル ポリシーの削除](#)

#### コア ファイル ポリシーの作成

コア ファイル ポリシーを作成できます。

##### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

##### CLI

ポリシー マネージャ

##### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **create corefile** <policy-name> <transfer-host-name> <file-path> {disabled | enabled}
5. **commit-buffer**

##### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>create corefile</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # create corefile EaCoreP12 hostname /test enabled	コア ファイル ポリシーを作成します。  ポリシー名の最大文字数は 32 です。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、コア ファイル ポリシーを作成する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # create corefile EaCoreP12 hostname /test enabled
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

## コア ファイル ポリシーの表示

コア ファイル ポリシーを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **show corefile**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。

ステップ 4	<b>show corefile</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # show corefile	コア ファイル ポリシーを表示します。
--------	--	---------------------

#### 例

次に、すべてのコア ファイル ポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # show corefile
Core File Policy:
Core File Policy Name: local
Core File Transfer Host Name: nexthost
Core File Policy Path: /test
Core File Policy Admin State: Enabled
Core File Policy Name: host
Core File Transfer Host Name: nexthost
Core File Policy Path: /test
Core File Policy Admin State: Enabled
vnmc(policy-mgr) /org/policy #
```

### コア ファイル ポリシーの削除

コア ファイル ポリシーを削除できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **delete corefile <policy-name>**
5. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>delete corefile</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete corefile EaCoreP12	コア ファイル ポリシーを削除します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、コア ファイルを削除する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr)# scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete corefile EaCoreP12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy #
```

## 障害ポリシーの操作

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- 障害ポリシーの作成
- 障害ポリシーの表示
- 障害ポリシーの削除

### 障害ポリシーの作成

障害ポリシーを作成できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **create faultpolicy** *<policy-name>* *<flap-interval>* {**delete** | **retain**} {*<number-of-days>* | **forever**} {**disabled** | **enabled**}
5. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>create faultpolicy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # create faultpolicy EaFaultPA13 10 retain forever enabled	障害ポリシーを作成します。 ポリシー名の最大文字数は 32 です。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

#### 例

次に、EaFaultPA13 という名前の障害ポリシーを作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
```

TAC support: <http://www.cisco.com/tac>  
 Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.  
 The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third parties and used and distributed under license. Certain components of this software are licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at <http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php> and <http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php>

```

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # create faultpolicy EaFaultPA13 10 retain forever enabled
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #
  
```

## 障害ポリシーの表示

障害ポリシーを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **show faultpolicy**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>show faultpolicy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # show faultpolicy	障害ポリシーを表示します。

## 例

次に、すべての障害ポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # show faultpolicy
Fault Policy:
Fault Policy Name: default
Fault Policy Clear Action: Retain
Fault Policy Flap Interval (dd:hh:mm:ss): 00:00:00:10
Fault Policy Retention Interval (dd:hh:mm:ss): 10:00:00:00
Fault Policy Admin State: Enabled
Fault Policy Name: EaFaultPA13
Fault Policy Clear Action: Retain
Fault Policy Flap Interval (dd:hh:mm:ss): 00:00:00:05
Fault Policy Retention Interval (dd:hh:mm:ss): 100:00:00:00
Fault Policy Admin State: Enabled
```

## 障害ポリシーの削除

障害ポリシーを削除できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **delete faultpolicy <policy-name>**
5. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>delete faultpolicy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete faultpolicy EaFaultPA13	障害ポリシーを削除します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、sysfault という名前の障害ポリシーを削除する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete faultpolicy EaFaultPA13
vnmcli(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy #
```



## ログ ポリシーの使用

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- ログ ポリシーの作成
- ログ ポリシーの表示
- ログ ポリシーの削除

### ログ ポリシーの作成

ログ ポリシーを作成できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **create log** *<policy-name>* *<log-policy-backup-count>* {critical | debug0 | debug1 | debug2 | debug3 | debug4 | info | major | minor | warning} *<log-policy-size>*
5. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>create log</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # create log EaLogP13 9 critical 10000000	ログ ポリシーを作成します。 ポリシー名の最大文字数は 32 です。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

#### 例

次に、EaLogP13 という名前のログ ポリシーを作成する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
```

Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.  
 The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third parties and used and distributed under license. Certain components of this software are licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at <http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php> and <http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php>

```

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # create log EaLogP13 9 critical 1000000
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log #
  
```

## ログ ポリシーの表示

ログ ポリシーを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **show log**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>show log</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # show log	ログ ポリシーを表示します。

### 例

次に、すべてのログ ポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
```

```

Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # show log
Logging Policy:
Logging Policy Name: LogPA1
Logging Policy Backup Count: 2
Logging Policy Level: Debug1
Logging Policy Size: 10000000
Logging Policy Admin State: Enabled
Logging Policy Name: LogPA2
Logging Policy Backup Count: 1
Logging Policy Level: critical
Logging Policy Size: 1000000
Logging Policy Admin State: Enabled
vnmcli(policy-mgr) /org/policy #

```

## ログ ポリシーの削除

障害ポリシーを削除できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **delete log <policy-name>**
5. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。

ステップ 2	<b>scope org</b> 例： vnmcli(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b> 例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>delete log</b> 例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete log EaLogP13	ログ ポリシーを削除します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b> 例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、EaLogP13 という名前のログ ポリシーを削除する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete log EaLogP13
vnmcli(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy #
```

## syslog ポリシーの使用

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [syslog ポリシーの作成](#)
- [syslog ポリシーの表示](#)
- [Syslog ポリシーの削除](#)

### syslog ポリシーの作成

syslog ポリシーを作成できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

## 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **create syslog <policy-name>**
5. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>create syslog</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # create syslog EaSysPA13	syslog ポリシーを作成します。 ポリシー名の最大文字数は 32 です。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、EaSysPA13 という名前のログ ポリシーを作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # create syslog EaSysPA13
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## syslog ポリシーの表示

syslog ポリシーを表示できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **show syslog**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>show syslog</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # show syslog	syslog ポリシーを表示します。

### 例

次に、すべてのログ ポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # show syslog
```

```

name: default
description: Syslog Service
name: EaSysPA13
description: Syslog Service
vnmc(policy-mgr) /org/policy #

```

## Syslog ポリシーの削除

syslog ポリシーを削除できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **delete syslog <policy-name>**
5. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>delete syslog</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # delete syslog EaSysPA13	syslog ポリシーを削除します。
ステップ 5	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、EaSysPA13 という名前のログ ポリシーを削除する例を示します。

```

vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are

```

---

owned by other third parties and used and distributed under license. Certain components of this software are licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at <http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php> and <http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php>

```
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # delete syslog EaSysPA13
vnmc(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy #
```



## 第7章 コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、およびログポリシーの属性の設定

ここでは、コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、ログ ポリシー属性について説明します。

- [コア ファイル ポリシーの属性の設定](#)
- [障害ポリシーの属性の設定](#)
- [ログ ポリシーの属性の設定](#)

### コア ファイル ポリシーの属性の設定

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [管理状態の設定](#)
- [説明の設定](#)
- [ホスト名の設定](#)
- [パスの設定](#)
- [ポートの設定](#)

#### 管理状態の設定

管理状態を設定できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile** *<policy-name>*
5. **set adminstate** {disabled | enabled}
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope corefile</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。

ステップ 5	<b>set adminstate</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile # set adminstate enabled	管理状態を設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、管理状態を設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile # set adminstate enabled
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

## 説明の設定

説明を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile <policy-name>**
5. **set descr <description>**
6. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope corefile</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ 5	<b>set descr</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile # set descr CoreFilePolicyAgent10	説明を設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、コア ポリシー EaCorePA10 に説明を追加する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr)# scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile # set descr CoreFilePolicyAgent10
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

## ホスト名の設定

コア ファイル転送ホスト名を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile** *<policy-name>*
5. **set hostname** *<host-name>*
6. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope corefile</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ 5	<b>set hostname</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set hostname policy10	ホスト名を設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、コア ファイル転送ホスト名を設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
```

```

owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile # set hostname policy10
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile #

```

## パスの設定

コア ファイル ポリシーのパスを設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile <policy-name>**
5. **set path <core-file-policy-path>**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope corefile</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ 5	<b>set path</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile # set path /test	パスを設定します。  最大文字数は 512 です。

ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。
--------	---	-----------------

## 例

次に、コア ファイル ポリシーのパスを設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc(policy-mgr)# scope org
vnmcc(policy-mgr)# scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set path /test
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

## ポートの設定

コア ファイル ポリシーのポート番号を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile <policy-name>**
5. **set port <port-number>**
6. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。

ステップ 2	<b>scope org</b> 例： vnmcc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b> 例： vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope corefile</b> 例： vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ 5	<b>set port</b> 例： vnmcc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set port 10	ポート番号を設定します。 有効な値の範囲は 1 ~ 65535 です。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b> 例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、コア ファイル ポリシーのポート番号を設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc(policy-mgr) # scope org
vnmcc(policy-mgr) # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set port 10
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

## 障害ポリシーの属性の設定

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [管理状態の設定](#)
- [クリア処理の設定](#)
- [説明の設定](#)
- [フラッピング間隔の設定](#)
- [保持間隔の設定](#)

### 管理状態の設定

管理状態を設定できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope faultpolicy <policy-name>**
5. **set adminstate {disabled | enabled}**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope faultpolicy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。
ステップ 5	<b>set adminstate</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set adminstate enabled	管理状態を設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。



## 例

次に、管理状態を設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set adminstate enabled
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #
```

## クリア処理の設定

クリア処理を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope faultpolicy <policy-name>**
5. **set clearaction {delete | retain}**
6. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。

ステップ 3	<b>scope policy</b> 例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope faultpolicy</b> 例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。
ステップ 5	<b>set clearaction</b> 例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set clearaction retain	クリア処理を設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b> 例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

この例は、クリア処理の設定方法を示しています。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set clearaction retain
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #
```

## 説明の設定

説明を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**

3. **scope policy**
4. **scope faultpolicy** <policy-name>
5. **set descr** <description>
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope faultpolicy</b>  例： vnm(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。
ステップ 5	<b>set descr</b>  例： vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set descr FaultPolicy1	説明を設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnm /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

#### 例

次に、障害ポリシー EaFaultPA12 に説明を追加する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set descr FaultPolicy1
vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
```

```
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #
```

## フラッピング間隔の設定

障害ポリシーにフラッピング間隔を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope faultpolicy <policy-name>**
5. **set flapinterval <interval>**
6. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope faultpolicy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。
ステップ 5	<b>set flapinterval</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set flapinterval 3500	フラッピング間隔を設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、障害ポリシーのフラッピング間隔を 3500 秒に設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
```

```

owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set flapinterval 3500
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #

```

## 保持間隔の設定

障害ポリシーに保持間隔を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope faultpolicy <policy-name>**
5. **set retentioninterval {<number of days> <number of hours> <number of minutes> <number of seconds> | forever}**

引数は次に示す範囲内で指定する必要があります。

1. Days (日数) : 0~24854
2. Hours (時間数) : 0~23
3. Minutes (分数) : 0~59
4. Seconds (秒数) : 0~59

**注** : VNMC CLI で指定する保持間隔の有効範囲は 0~24854 です。CLI で値を設定すると、VNMC GUI にはその値と同じ値が表示されます。この値を VNMC GUI で編集する場合は 0~99 の範囲とする必要があります。

#### 6. commit-buffer

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例 : vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例 : vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。

ステップ 3	<b>scope policy</b> 例： vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope faultpolicy</b> 例： vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。
ステップ 5	<b>set retentioninterval</b> 例： vnmcc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set retentioninterval 10 00 00 00	保持間隔を設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b> 例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、障害ポリシーの保持間隔を 10 日に設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc(policy-mgr)# scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set retentioninterval 10 00 00 00
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #
```

## ログ ポリシーの属性の設定

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [バックアップ カウントの設定](#)
- [説明の設定](#)
- [レベルの設定](#)
- [サイズの設定](#)

### バックアップ カウントの設定

ログ ポリシーにバックアップ カウントを設定できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope log <policy-name>**
5. **set backup-count {1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9}**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope log</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>set backup-count</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy/log # set backup-count 9	バックアップ カウントを設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、バックアップ カウントを設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log # set backup-count 9
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log #
```

## 説明の設定

ログ ポリシーに説明を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope log <policy-name>**
5. **set descr <policy-description>**
6. **commit-buffer**



## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope log</b>  例： vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>set descr</b>  例： vnmcc(policy-mgr) /org/policy/log # set descr LogPolicy11	説明を設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、説明を設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc(policy-mgr)# scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/log # set descr LogPolicy11
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/log #
```

## レベルの設定

ログ ポリシーにレベルを設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope log <policy-name>**
5. **set level {critical | debug0 | debug1 | debug2 | debug3 | debug4 | info | major | minor | warning}**
6. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope log</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>set level</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log # set level critical	レベルを設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、レベルを設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
```

```

license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log # set level critical
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log #

```

## サイズの設定

ログ ポリシーにサイズを設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope log <policy-name>**
5. **set size <size>**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope log</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>set size</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy/log # set size 104857599	サイズを設定します。  有効な値の範囲は 1048576 ~ 104857600 です。

ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。
--------	---	-----------------

## 例

次に、サイズを設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc(policy-mgr)# scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/log # set size 104857599
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/log #
```

## 第 8 章 syslog ポリシーの属性の設定

この章では、syslog ポリシーおよび syslog ポリシー属性への説明の割り当てに関する情報を示します。syslog ポリシーは属性の集合です。次の 4 つの syslog ポリシー属性があります。

- console : コンソール属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。
- file : ファイル属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。
- monitor : モニタ属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。
- remote destination : リモート属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。

属性の作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定の詳細については、以下から該当する項を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [syslog ポリシーへの説明の割り当て](#)
- [syslog アラートの送信](#)
- [コンソール属性の使用](#)
- [ファイル属性の使用](#)
- [モニタ属性の使用](#)
- [リモート宛先属性の使用](#)

## syslog ポリシーへの説明の割り当て

syslog ポリシーにポリシーの説明を割り当てることができます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **set descr <policy-description>**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。

ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	<b>set descr</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # set descr syslogPolicy12	ポリシーの説明を設定します。 syslog ポリシーの説明に使用できる最大文字数は 256 です。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、説明 syslogPolicy12 を syslog ポリシー EaSysPA12 に割り当てる例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # set descr syslogPolicy12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## syslog アラートの送信

syslog メッセージを送信できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

## 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **send-syslog {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings} {syslog-message}**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	<b>send-syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # send-syslog critical messagetext	syslog メッセージを送信します。

## 例

次に、syslog メッセージを送信する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # send-syslog critical messagetext
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## コンソール属性の使用

コンソール属性を作成します。作成してからイネーブルやディセーブルにすることができます。コンソール属性の設定も可能です。設定するときに、属性に重大度レベルを割り当てます。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [コンソール属性の作成](#)
- [コンソール属性のイネーブル化](#)
- [コンソール属性のディセーブル化](#)
- [コンソール属性の設定](#)

### コンソール属性の作成

コンソール属性を作成できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **create console**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>create console</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # create console	コンソールを作成します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。



## 例

次に、コンソールを作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are owned by other
third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create console
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## コンソール属性のイネーブル化

コンソール属性をイネーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **enable console**
6. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>enable console</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable console	コンソールをイネーブルにします。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、コンソール属性をイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable console
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## コンソール属性のディセーブル化

コンソール属性をディセーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **disable console**
6. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>disable console</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable console	コンソールをディセーブルにします。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、コンソール属性をディセーブルにする例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable console
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## コンソール属性の設定

コンソール属性に重大度レベルを割り当てることができます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **set console level {alerts | critical | emergencies}**
6. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b> 例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b> 例： vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b> 例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。

ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログモードを開始します。
ステップ 5	<b>set console level</b>  例： vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set console level critical	レベルを設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、レベルを設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc(policy-mgr) # scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set console level critical
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## ファイル属性の使用

ファイル属性を作成します。作成してからイネーブルやディセーブルにすることができます。ファイル属性の設定も可能です。設定するときに、属性に重大度レベル、名前、およびファイルサイズを割り当てます。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [ファイルの作成](#)
- [ファイルのイネーブル化](#)
- [ファイルのディセーブル化](#)
- [ファイルの設定](#)

### ファイルの作成

ファイルを作成できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **create file**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>create file</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create file	ファイルを作成します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、ファイルを作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create file
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## ファイルのイネーブル化

ファイルをイネーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **enable file**
6. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>enable file</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable file	ファイルをイネーブルにします。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、ファイルをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable file
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```



## ファイルのディセーブル化

ファイルをディセーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **disable file**
6. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>disable file</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable file	ファイルをディセーブルにします。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、ファイルをディセーブルにする例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
```

```

license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable file
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

## ファイルの設定

ファイル属性に重大度レベル、名前、およびファイル サイズを割り当てることができます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **set file level {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings } | name <file-name> | size <file-size>**

注：同じコマンドの中でファイルに1つ以上のオプション（重大度レベル、名前、またはファイル サイズ、あるいはこれらの組み合わせ）を指定できます。また、このコマンドの中で重大度レベル、名前、およびファイル サイズを記述する順序は任意です。

6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。

ステップ 5	<b>set file level</b>  例： vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set file level alerts	ファイルを設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、ファイル属性の重大度レベルを alerts に設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc(policy-mgr) # scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set file level alerts
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## モニタ属性の使用

モニタ属性を作成します。作成してからイネーブルやディセーブルにすることができます。モニタ属性の設定も可能です。設定するときに、属性に重大度レベルを割り当てます。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [モニタの作成](#)
- [モニタのイネーブル化](#)
- [モニタのディセーブル化](#)
- [モニタの設定](#)

### モニタの作成

モニタを作成できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

## 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **create monitor**
6. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>create monitor</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # create monitor	モニタを作成します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、モニタを作成する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
```

```

vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create monitor
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

## モニタのイネーブル化

モニタをイネーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **enable monitor**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>enable monitor</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable monitor	モニタをイネーブルにします。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

### 例

次に、モニタをイネーブルにする例を示します。

```

vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center

```

TAC support: <http://www.cisco.com/tac>  
 Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.  
 The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third parties and used and distributed under license. Certain components of this software are licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at <http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php> and <http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php>

```

vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable monitor
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #
  
```

## モニタのディセーブル化

モニタをディセーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **disable monitor**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。

ステップ 5	<b>disable monitor</b>  例： vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable monitor	モニタをディセーブルにします。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、モニタをディセーブルにする例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcc(policy-mgr) # scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable monitor
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## モニタの設定

モニタを設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **set monitor {level} {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings}**
6. **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>set monitor level</b>  例 vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # set monitor level critical	モニタを設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、モニタを設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # set monitor level critical
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```



## リモート宛先属性の使用

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [リモート宛先の作成](#)
- [リモート宛先のイネーブル化](#)
- [リモート宛先のディセーブル化](#)
- [リモート宛先の設定](#)

### リモート宛先の作成

リモート宛先を作成できます。

#### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

#### CLI

ポリシー マネージャ

#### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **create remote-destination {server-1 | server-2 | server-3} <server-name>**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>create remote-destination</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create remote-destination server-1 test	リモート宛先を作成します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、リモート宛先を作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create remote-destination server-1 test
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## リモート宛先のイネーブル化

リモート宛先をイネーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **enable remote-destination {server-1 | server-2 | server-3}**
6. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。

ステップ 3	<b>scope policy</b> 例： vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b> 例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>enable</b> 例： vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable remote-destination server-1	リモート宛先をイネーブルにします。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b> 例： vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

## 例

次に、リモート宛先をイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable remote-destination server-1
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## リモート宛先のディセーブル化

リモート宛先をディセーブルにできます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

## CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**

3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **disable remote-destination {server-1 | server-2 | server-3}**
6. **commit-buffer**

#### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例: vnm(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>disable</b>  例: vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable remote-destination server-1	リモート宛先をディセーブルにします。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例: vnm /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

#### 例

次に、リモート宛先をディセーブルにする例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable remote-destination server-1
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
```

```
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## リモート宛先の設定

リモート宛先を設定できます。

### はじめる前に

VNMC CLI の基本的な情報に関しては、[VNMC CLI の基本コマンド](#)を参照してください。

### CLI

ポリシー マネージャ

### 手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **set remote-destination {server-1 | server-2 | server-3} {facility {auth | authpriv | cron | daemon | ftp | kernel | local0 | local1 | local2 | local3 | local4 | local5 | local6 | local7 | lpr | mail | news | syslog | user | uucp} | hostname <host-name> | | level {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings}}**

注：set remote-destination {server-1 | server-2 | server-3}の後に facility、hostname、または level を入力できます。同じコマンドの中で 1 つ以上のオプション (facility、hostname、および level) を任意の順序で指定できます。

6. **commit-buffer**

### 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>connect policy-mgr</b>  例： vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<b>scope org</b>  例： vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<b>scope policy</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<b>scope syslog</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ 5	<b>set remote-destination</b>  例： vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set remote-destination server-2 level critical	リモート宛先を設定します。
ステップ 6	<b>commit-buffer</b>  例： vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

## 例

次に、リモート宛先を設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU Lesser General Public
License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set remote-destination server-2 level
critical
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

## 索引

### C

CLI の基本コマンド ..... 11

### D

Device Profile ..... 79, 85  
DNS Server ..... 92  
DNS サーバのホスト名 ..... 82  
Domain Name ..... 84

### F

FSM の表示 ..... 42

### H

Host Name ..... 14

### I

IP アドレス ..... 26

### N

NTP Server ..... 95  
NTP サーバのホスト名 ..... 80, 83

### P

ping コマンド ..... 28

### S

Syslog Alerts ..... 134  
syslog ポリシー ..... 90, 133  
Syslog ポリシー ..... 108  
syslog ポリシーの属性 ..... 133  
System Information ..... 36

### T

Terminal Length ..... 30  
Timezone ..... 91

### V

VNMC CLI ..... 7  
VNMC について ..... 5  
VNMC のリポート ..... 12  
VNMC の復元 ..... 15, 43  
VNMC プロバイダー ..... 32

### い

イベントの表示 ..... 76

### か

仮想マシン マネージャ ..... 10  
監査ログ ..... 75  
管理コントローラ ..... 8  
管理状態 ..... 113  
管理データのエクスポートおよびインポート ..... 55  
管理データの属性 ..... 63

### く

クリア処理 ..... 121

### け

ゲートウェイ アドレス ..... 27

### こ

コア ファイル ポリシー ..... 86, 97  
コア ファイル ポリシーのパス ..... 117  
コア ファイル ポリシーのポート番号 ..... 118  
コア ファイル ポリシーの属性 ..... 113  
コア ファイル 転送ホスト名 ..... 116  
更新履歴 ..... 38  
コンソール属性 ..... 136

### さ

サービスの使用 ..... 16  
サービス レジストリ ..... 10  
サイズの設定 ..... 131

### し

システム クロック ..... 33  
システムを更新します。 ..... 13  
障害の確認 ..... 75  
障害の表示 ..... 78  
障害ポリシー ..... 88, 101  
障害ポリシーの属性 ..... 120

### せ

セキュリティの管理 ..... 25  
セッションのタイムアウト ..... 31  
設定情報 ..... 34  
説明 ..... 114

### た

ターミナルの幅 ..... 31

### て

テクニカル サポート情報 ..... 37

### と

ドメイン ネーム サーバ (DNS) のホスト名 ..... 79  
ドメイン名 ..... 93

### ね

ネットマスク ..... 27  
ネットワーク インターフェイス ..... 35

### は

バージョン番号 ..... 36  
バックアップ カウント ..... 127

## ふ

ファイル バックアップの属性 .....	49
ファイルのコピー .....	22
ファイルのバックアップ .....	45
ファイルの削除 .....	23
ファイルの設定 .....	146
ファイル属性 .....	142
ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリ .....	24
フラッシング間隔 .....	124

## ほ

保持期間 .....	125
ポリシー マネージャ .....	9
ポリシーの管理 .....	97

## も

モニタ属性 .....	147
-------------	-----

## り

リソース マネージャ .....	9
リモート宛先属性 .....	153

## れ

レベルの設定 .....	130
--------------	-----

## ろ

ローカル管理 .....	8
ログ ポリシー .....	89, 105
ログ、イベント、および障害の管理 .....	70



---

## 第 9 章 マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL の『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示し、RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツをデスクトップに配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。

Google, Google Play, Android and certain other marks are trademarks of Google Inc.

*Cisco Virtual Network Management Center 2.1 CLI* コンフィギュレーション ガイド

OL-29820-01-J

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>